

令和7年版

第52号

# 消 防 年 報

つくば市消防本部

# つくば市の花・鳥・木

平成9年11月30日制定



## 花

### ホシザキユキノシタ

筑波山のみにも自生するユキノシタ科の野草の一種で、かれんで美しい白い花を咲かせます。繁殖力があり、市天然記念物になっています。

昭和63年1月31日つくば市指定天然記念物

### フクロウ

農村・人里環境を代表する鳥で森の哲学者ともいわれています。知恵と技術の象徴であり、学園都市を擁するつくば市にふさわしい鳥です。

## 鳥



### ケヤキ

市内の随所で見られ、広く市民に親しまれている木です。

大きくて力強く、無限の発展を秘めている、つくば市にふさわしい木です。

## 木

## はじめに

この年報は、令和7年中のつくば市消防の状況について、諸資料を総合的に集録し、消防現勢及び消防行政の現況を明らかにしたものであり、各方面で資料として広く利用され、地域防災の一助になれば幸いです。

なお、災害統計は暦年、事業概要は会計年度をもって表わしています。

令和8年6月

つくば市消防長 松岡 幹夫

# つくば市消防本部消防歌

## 花の消防隊

作詞 松本英佑  
作曲 只野通泰

一

むらさき薫る 筑波嶺の

ふもとに咲いた 男花

勇猛果敢 敏速の

誓いも堅く 警防の

使命に生きる 花の消防隊

二

世の為 人の為ならば

火の粉もかぶる 心意気

細心冷静 沈着の

瞳は清く 輝いて

倅せ見張る 花の消防隊

三

世界に誇る 学園の

ひらめく日の丸を 仰ぐとき

みなぎる志気 踊る胸

日本の明日を 築くため

命を燃やす 花の消防隊

# インフォメーション

(2026年4月1日現在)

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	※283.72km <sup>2</sup>	261,933人	923.2人/km <sup>2</sup>	122,691世帯

予算・機構・人事	予算	署・所	職員数	消防団員数
	4,260,479千円 市民1人あたり16,265円	本部 1 消防署 3 分署 5	定数 365人 実数 355人	定数 950人 実数 769人

機械・施設	指揮・指令・消防車両	特殊車両	救急車	水利
	指揮車 4台 指令車 5台 水槽付消防ポンプ自動車 7台 消防ポンプ自動車 1台 小型動力ポンプ積載車 1台 非常用消防自動車 2台	はしご車 2台 救助工作車 3台 特殊災害対応自動車 1台 小型動力ポンプ付大型水槽車 1台 化学消防ポンプ自動車 1台 支援車 1台 重機及び重機搬送車 1台 資材搬送車 1台 ボートトレーラー 1台	高規格救急車 9台 非常用救急車 2台	消火栓 2,671基 防火水槽 2,243基 (プール等含む)

予防	防火対象物	危険物施設	市民防火クラブ	消防音楽隊
	総数 10,763件	製造所 5 貯蔵所 407 取扱所 211	クラブ数 10 クラブ員 726名	専任講師 1名 隊員 32名

※国土交通省国土地理院公表

## 令和7年中 火災・救急概要

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	事故種別
	126件 2.8日に1件の割合で発生	1 放火・放火の疑い 23件 2 電気機器・火入れ 各15件 3 マッチ・ライター 6件	11,946件 1日あたり32.7件	1 急病 64.1% 2 一般負傷 12.8% 3 交通 8.3%

# 目 次

## 第 1 章 概況と沿革

1	つくば市の概況	1
2	つくば市の歴史	2
3	つくば市消防の沿革	3
4	消防機関の名称・配置	13
5	応援協定・業務協定	14
6	組織体制	15
7	消防本部の事務分掌	16
8	消防署の事務分掌	20
9	防火団体	21

## 第 2 章 資 料

### 第 1 節 総 務 編

1	令和 8 年度つくば市一般会計予算(歳出)	22
2	消防予算と人口・世帯の割合	22
3	人口・世帯数の推移	23
4	消防力の現勢	23
5	消防職員の配置	24
6	消防吏員の年齢表	26
7	消防吏員の勤務年数	27
8	消防職員の変遷(過去 10 年間)	27
9	消防職員の教養	28
10	職員表彰	29
11	公務災害	30
12	消防音楽隊	31

### 第 2 節 予 防 編

1	消防法第 7 条に基づく消防同意取扱い件数(申請別)	32
2	消防法第 7 条に基づく消防同意取扱い件数(用途別)	33
3	消防用設備等検査済証の交付件数	34
4	防火対象物関係申請・届出状況	35
5	火災予防条例関係申請・届出状況	36
6	指定催しの指定	36
7	防火対象物の現況	37
8	避難訓練実施状況	38
9	広報活動状況	39

10	防火対象物表示制度状況	39
11	防火・防災管理講習会の開催状況	39
12	管内危険物施設数	40
13	危険物製造所等許可件数	40
14	危険物製造所等完成検査実施件数	40
15	危険物規制事務手数料	41
16	予防技術資格者の認定状況	41
17	火薬類取締法における許可件数・事務手数料	41

### 第3節 警防編

1	消防車両等	42
2	消防水利	43
3	消防器具保有状況	44
4	消防機関の出動状況	48

### 第4節 消防指令編

1	高機能消防指令センター	49
2	高機能消防指令システム系統	51
3	消防無線配置状況	52
4	通報件数	52
5	気象情報発表件数	53
6	気象状況	54
7	気象観測最大最小値	54

### 第5節 火災編

1	火災概況	55
2	地区別火災件数及び損害額	56
3	月別・時間帯別火災件数	57
4	曜日別火災件数	58
5	過去10年間の火災件数推移	58
6	主な出火原因	58
7	過去3年間の主な出火原因	59
8	出火原因による主な発火源・経過・着火物	59
9	火災統計	60

## 第6節 救急編

1	救急出動状況	69
2	署所別救急出動件数及び搬送人員	69
3	過去5年間の事故種別と搬送人員の推移	70
4	月別救急出動件数及び搬送人員	71
5	曜日別救急出動件数及び搬送人員	72
6	時間帯別救急出動件数	72
7	現場到着所要時間別出動件数	73
8	収容所要時間別搬送人員	73
9	年齢区分別及び傷病程度別搬送人員	74
10	救急隊員の行った応急処置件数	75
11	応急手当講習会開催状況	76

## 第7節 救助編

1	事故種別出動及び活動件数	77
2	事故種別救助人員及び車両別搬送人員	77
3	事故種別出動人員及び活動人員	77
4	事故種別出動車両台数	78
5	事故種別活動車両台数	78

## 第8節 消防団編

1	消防団の沿革	79
2	消防団員数	79
3	年齢・階級別消防団員数	80
4	消防団配備等の現況	80
5	消防団組織体制	81
6	火災出動件数及び出動人員	82
7	女性分団活動状況	82

# 第1章

## 概況と沿革



# 1 つくば市の概況

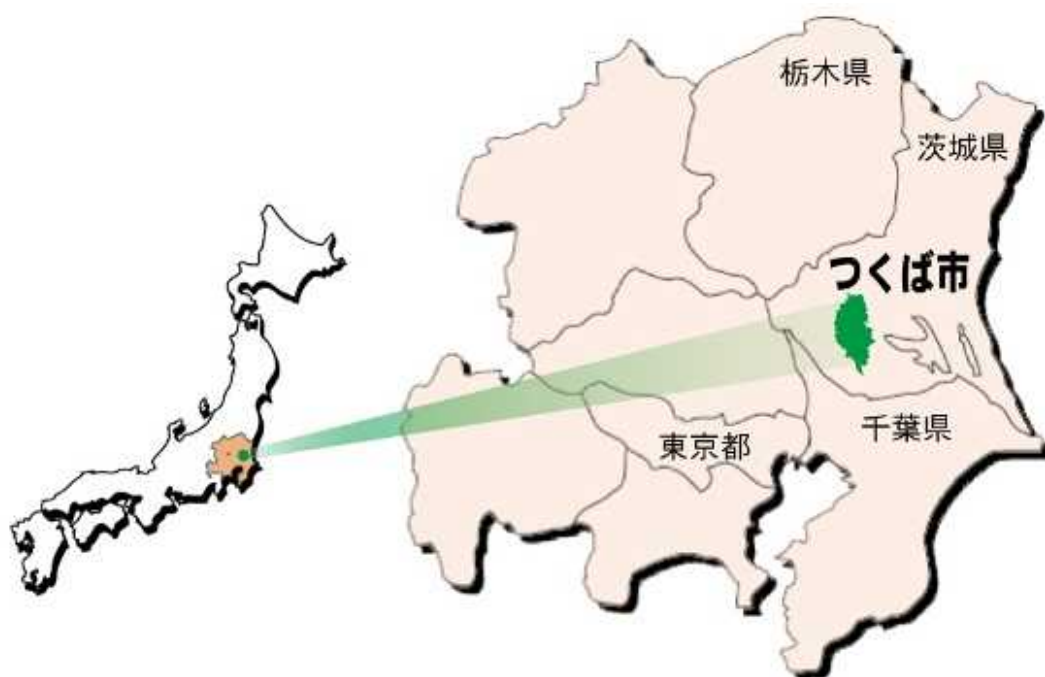
つくば市は、茨城県の南西部に位置し、茨城県の県庁所在地水戸市から南西に約 50 キロメートル、首都東京から北東に約 50 キロメートル、成田国際空港（成田市）から北西に約 40 キロメートルの距離に位置しています。面積は 283.72 平方キロメートルで、これは県内で 4 番目の広さになっています。

北に関東の名峰筑波山を擁し、東には我が国第 2 位の面積を有する霞ヶ浦を控え、あわせて水郷筑波国定公園に指定されています。

また、筑波山地域を除く市域の大部分は、筑波・稲敷台地と呼ばれる標高 20～30 メートルの関東ローム層に覆われた平坦な地形であり南北に流れる小貝川、桜川、谷田川、西谷田川などの河川は、周辺の平地林、畑地あるいは水田等と一体となって落ち着いた田園風景を醸し出しています。

市の中心部に位置する筑波研究学園都市は、東京等の国の試験研究機関等を計画的に移転することにより東京の過密緩和を図るとともに、高水準の研究と教育を行うための拠点を形成することを目的に国家プロジェクトとして建設されました。

市内に立地する 150 を超える官民の研究機関には、約 2 万人の研究従事者が勤務しており、我が国最大のサイエンスシティとなっています。



## 2 つくば市の歴史

### 市 章



市章は、2つの「つ」を組み合わせ、図案化したもので、無限の発展とゆるぎない調和を表しています。ライトブルーは、澄んだ青空と SCIENCE（科学）を表し、ライトグリーンは輝かしい新緑と NATURE（自然）を表しています。

（平成元年4月11日制定）

江戸時代この地域一帯は、土浦藩土屋氏、谷田部藩細川氏などいくつかの領主の所領となり、明治維新に引き継がれます。

現在のつくば市を形成する旧6町村のうち大穂町、豊里町、谷田部町、桜村、筑波町の5町村は町村合併促進法により昭和30年前後に誕生しました。筑波郡大穂町は、昭和28年町制を施行、同年栗原村蓮沼を編入、翌31年吉沼村と合併し誕生しました。筑波郡豊里町は、昭和30年旭村、上郷町の配置分合で上郷町となり、同日豊里町と改名、翌年吉沼村の一部を編入し、誕生しました。筑波郡谷田部町は、昭和30年、谷田部町、真瀬村、（一部を除く）、島名村、小野川村、葛城村の1町4村が合併して誕生しました。新治郡桜村は、昭和30年、栄村、九重村、栗原村が合併して誕生しました。筑波郡筑波町は、昭和30年、筑波町、田井村、北条町、田水山村、小田村が合併して誕生、31年には

作岡村、32年には菅間村を編入しました。稲敷郡荃崎町、明治22年4月町村制の施行を契機に、小荃、高崎、上岩崎、下岩崎など11ヶ村を統合して誕生しました。

昭和38年9月に、研究学園都市の4つの候補地区（富士山麓、赤城、那須、筑波）の中から筑波が選ばれ閣議了解され、稲敷郡荃崎町を含めた5町1村は筑波研究学園都市を形成することとなり、開発・整備が進められました。

昭和60年に国際科学技術博覧会が開催されたのを機に、地元町村でも合併の機運が盛り上がり、「つくば」としての一体的な開発を目指し、昭和62年11月30日、学園都市を形成する3町1村が合併し、県内の自治体では20番目、全国では655番目の新市「つくば市」が誕生しました。以来2度の合併により、平成18年には人口が20万人を越え、平成19年4月に特例市に移行しました。

平成22年5月には、行政組織の一元化のため、つくば市誕生（昭和62年11月30日）以来の懸案事項であった新本庁舎を、つくばエクスプレス研究学園駅西側に開庁しました。

平成23年12月に、国際戦略総合特区に指定、平成25年3月には環境モデル都市に選定され、国際化などの環境整備は着々と進められております。また平成27年9月にはつくば市および周辺5市からなる筑波山地域が「日本ジオパーク」に認定され、令和4年4月にはスーパーシティ型国家戦略特別区域として区域指定されました。

### 市 民 憲 章

豊かな自然と悠久の歴史にはぐくまれたまち、つくば。

私たちは、異なった価値観や文化を認め合いながら、互いを尊重し、ともに手を取りあって、未来に向かって発展するまちをつくります。

1. 思いやりのあふれる、やすらぎのまち
1. 世界と日本の多様な文化が出会い、融け合うまち
1. 世界が集い、世界にはばたくまち
1. 人類の夢を実現する科学のまち
1. 水と緑、きれいな空気と青い空 一人間と自然と科学が調和しながら共存するまち

（平成10年11月30日制定）

### 3 つくば市消防の沿革

昭和 49 年	4 月	<p>新治郡桜村上ノ室の旧九重村役場跡を仮庁舎として、筑南地方広域行政事務組合消防本部、消防署を発足（1 本部 1 署）</p> <p>消防長事務取扱いに組合管理者、横田栄一谷田部町長が就任、消防本部次長兼消防署長事務取扱い渡辺良二消防司令ほか 28 人の職員を採用、うち 22 人が茨城県消防学校に入校する。</p> <p>指令車を購入配置する。</p>
	6 月	救急自動車を購入配置する。
	7 月	<p>消防業務を開始する。</p> <p>消防ポンプ自動車を購入配置する。</p>
	8 月	日本船舶振興会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	10 月	郵政省関東電波監理局から消防用無線電話装置基地局 1、移動局 5 の免許状が交付される。
	11 月	消防本部、消防署新庁舎を筑波郡谷田部町春日 2458 の 2 に着工
昭和 50 年	4 月	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける。
	5 月	新消防庁舎竣工
	8 月	新庁舎に移転、業務を開始する。
	10 月	消防吏員 6 人採用（職員数 35 人）
	11 月	救助隊結成、訓練を開始する。
	12 月	はしご自動車（32M級）を購入配置する。
昭和 51 年	1 月	<p>連絡車を購入配置する。</p> <p>消防本部次長兼消防署長渡辺良二退職する。</p>
	2 月	筑南地方広域行政事務組合事務局長補佐牧島等、消防本部次長兼消防署長に就任する。
	4 月	消防吏員 5 人採用（職員数 40 人）
	6 月	消防本部 4 係制を 3 係制に改編する。（総務係、予防係、警防係）
	11 月	筑南広域圏消防連絡協議会を設立する。
昭和 52 年	3 月	<p>分署用車両として水槽付消防ポンプ自動車 2 台、指令車 2 台、救急自動車 1 台を購入する。</p> <p>筑波郡筑波町上沢 3 番地に北部分署庁舎を着工</p>
	4 月	分署用車両として救急自動車 1 台を購入する。
	5 月	消防吏員 43 人採用（職員数 83 人）
	6 月	広報車を購入配置する。
	7 月	<p>筑波郡筑波町上沢 1 番地、筑南地方広域行政事務組合第一衛生センターを仮庁舎とし北部分署を設置、稲敷郡茎崎村小茎の茎崎村公民館を仮庁舎とし南部分署を設置し、水槽付消防ポンプ自動車、救急自動車、指令車各 1 車両ずつを配置し、業務を開始する。（1 本部 1 署 2 分署）</p> <p>北部分署庁舎竣工</p> <p>消防本部 3 係制を 2 係制に改編する。（総務係、警防係）</p>
	8 月	北部分署、新庁舎に移転し業務を開始する。
	9 月	<p>消防長横田栄一退職する。</p> <p>堀田乾次郎筑波町長が消防本部消防長事務取扱いに就任する。</p>

昭和 53 年	11 月	稲葉勝行大穂町長が消防本部消防長事務取扱いに就任する。
	5 月	消防吏員 10 人採用（職員数 93 人） 茨城県救急医療情報コントロールシステム地域情報本部（ディスプレイ装置）が通信指令室に設置される。
	8 月	ディスプレイ装置稼働開始
昭和 54 年	12 月	機械器具置場兼危険物倉庫新築
	4 月	消防吏員 2 人採用（職員数 93 人）
	5 月	消防本部 2 係制を 3 課制に改編する。（総務課、予防課、警防課）
昭和 55 年	9 月	消防吏員 1 人を採用（職員数 93 人）
	3 月	自治省消防庁の消防研修協会から、調査研究のためドクターカーが配置される。 郵政省関東電波監理局から、救急無線電話設置、基地局の免許状が交付される。
	4 月	消防本部次長兼消防署長牧島等離任する。
昭和 56 年	4 月	消防吏員 12 人採用（職員数 105 人）
	6 月	茨城県消防防災課副参事軍司尚四郎、消防本部次長兼消防署長に就任する。
	8 月	消防吏員 1 人採用（職員数 106 人）
昭和 57 年	12 月	消防吏員 1 人採用（職員数 106 人）
	3 月	日本損害保険協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	4 月	消防吏員 31 人採用（職員数 137 人） 南部分署庁舎竣工、新庁舎に移転し業務を開始する。 （谷田部町観音台 1 丁目 25 番地）
昭和 58 年	6 月	指令車を購入配置する。
	9 月	テレホンサービス業務を開始する。
	12 月	西部出張所用車両として水槽付消防ポンプ自動車を購入する。
昭和 57 年	2 月	出動表示灯を設置する。 可搬用指令装置を購入配置する。
	3 月	通信指令室にシリーズコールシステムを導入する。
	4 月	消防吏員 4 人採用（職員数 140 人）
昭和 58 年	5 月	消防本部次長兼消防署長軍司尚四郎離任する。 消防本部内に科学万博消防対策室を設置し、業務を開始する。 消防本部 3 課制を 3 課 1 室制に改編する。 （総務課、予防課、警防課、科学万博消防対策室）
	6 月	土浦市消防本部予防課長菅谷茂、消防本部次長兼消防署長に就任する。 豊里町上郷 607 番地に西部出張所庁舎を竣工、水槽付消防ポンプ自動車、連絡車各 1 台を配置し業務を開始する。（1 本部 1 署 2 分署 1 出張所） 筑南地方危険物安全協会から、連絡車 1 台の寄贈を受ける。
	7 月	西部出張所に油脂庫竣工
昭和 58 年	8 月	消防本部訓練塔竣工
	9 月	西部出張所に救急自動車を配置し、業務を開始する。
	1 月	荃崎町小荃 288 番地（前、南部分署仮庁舎）に、南部分署荃崎分遣所を設置、水槽付消防ポンプ自動車を配置し業務を開始する。 （1 本部 1 署 2 分署 1 出張所 1 分遣所）

	2月	救助工作車を購入、本署に配置する。
	4月	消防吏員7人採用（職員数146人）
	6月	消防吏員1人採用（職員数146人）
	7月	西部出張所に出動表示灯を設置する。
	8月	消防吏員1人採用（職員数146人）
	10月	消防本部の通信指令室を一部改築する。 消防吏員1人採用（職員数146人）
昭和59年	4月	北部分署に油脂庫竣工 消防吏員10人採用、および科学万博消防対策室へ土浦市消防本部から1人派遣される。（職員数155人）
	6月	消防本部次長兼消防署長菅谷茂離任する。 消防本部総務課長兼消防署長に、中村輝夫就任する。
	10月	科学万博会場内に科学万博消防署を開設し、慶野清消防署長以下23人、12車両で業務を開始する。（1本部2署2分署1出張所1分遣所） 消防本部3課1室制を3課制に改編する。（総務課、予防課、警防課） 科学万博消防署開設に伴い、関係町村から職員12人、および隣接消防本部から2人派遣される。（職員数165人）
昭和60年	1月	科学万博消防署へ隣接消防本部から10人派遣される。（職員数179人）
	3月	科学万博消防署へ隣接消防本部から26人派遣される。（職員数205人）
	4月	消防吏員2人採用（職員数207人）
	6月	指揮車を購入し消防本部に配置する。また、連絡車1台を更新する。
	9月	科学万博消防署を閉署（派遣職員41人離任） （1本部1署2分署1出張所1分遣所）
	10月	消防本部次長に、科学万博消防署長慶野清就任する。 （財）国際科学技術博覧会協会から、屈折はしご自動車、化学消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車各1台と、救急自動車2台の寄贈を受ける。 消防本部・消防署の車庫を増築する。 筑波郡筑波町沼田3000番地の旧沼田中学校を仮庁舎とし、北部分署筑波分遣所を設置、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置し業務を開始する。
昭和61年	3月	科学万博業務記念誌を発行する。
	4月	消防吏員1人採用（職員数156人）
	10月	広報車を購入、消防本部に配置する。
	11月	行政バスを購入、消防本部に配置する。
昭和62年	1月	北部分署に整備ピットを設置する。 消防吏員1人採用（職員数156人）
	2月	はしご自動車をオーバーホールする。 通信指令装置関係を全面改修する。
	3月	消防吏員1人採用（職員数156人） 消防本部庁舎の外壁を全面塗装する。 筑波町沼田字西川面645番地に、筑波分遣所庁舎を竣工、移転する。 荃崎町小荃字上平563番地に、荃崎分遣所庁舎を竣工、移転する。
昭和62年	11月	大穂町、豊里町、桜村、谷田部町が合併し、つくば市となる。 つくば市に筑波町が編入合併する。

昭和 63 年	1 月	消防長稲葉勝行離任する。
	2 月	消防本部次長慶野清、消防長職務代理者となる。
	3 月	荃崎町長石川玄蔵、消防長に就任する。
	4 月	本署配置の消防ポンプ自動車と救急自動車を更新する。
	10 月	消防吏員 20 人採用（職員数 176 人） 筑波分遣所、荃崎分遣所に救急自動車、連絡車各 1 台を配置し、救急業務を開始する。 消防本部警防課 3 係制を 5 係制に改編する。（消防防災係、救急係、救助係、通信指令係、訓練指導係）
平成元年	3 月	本署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。 各分遣所の救急自動車を更新する。
	4 月	消防吏員 20 人採用（職員数 194 人）
	5 月	消防長石川玄蔵消防正監に、次長慶野清消防監にそれぞれ昇任する。
	10 月	消防署の組織改革により、消防本部・消防署を中央消防署に、北部分署、南部分署をそれぞれ北消防署、南消防署に改める。また、出張所、各分遣所を分署に改める。（1 本部 3 署 3 分署） 消防本部 3 課制を 4 課制に改編する。（総務課、予防課、警防課、訓練課） つくば市金田 2040 番地の 2 に中央消防署桜分署庁舎を竣工、救急自動車を配置し業務を開始する。（1 本部 3 署 4 分署）
平成 2 年	3 月	水槽付消防ポンプ自動車を購入、桜分署に配置する。 日本損害協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 大型水槽付消防ポンプ自動車（8,000 ℓ）を購入し、中央消防署に配置する。
	4 月	消防吏員 16 人採用（職員数 210 人） 消防職員 3 人採用（職員数 213 人）
	10 月	緊急通報システムを導入する。
平成 3 年	2 月	北消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	3 月	西分署配置の救急自動車を更新する。 消防本部庁舎を増築する。
	4 月	消防吏員 22 人採用（職員数 228 人）
	5 月	連絡車を購入、消防本部に配置する。
	8 月	連絡車（ワゴン車）を購入、消防本部に配置する。
	9 月	筑波分署配置の小型動力ポンプ付積載車を更新する。
	11 月	筑南地方危険物安全協会から、連絡車 1 台の寄贈を受ける。
平成 4 年	12 月	救急自動車に心電図伝送装置及び自動車電話を装備する。
	2 月	南消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。 荃崎分署庁舎、筑波分署庁舎を増築する。
	3 月	北消防署、南消防署の庁舎を一部改修する。
	4 月	消防吏員 27 人採用（職員数 253 人）
平成 4 年	7 月	日本消防協会から、救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
	10 月	救急救命士 1 人が誕生する。
	11 月	消防長石川玄蔵離任する。
平成 5 年	12 月	つくば市長木村操消防長に就任する。
	3 月	救助工作車 2 台を購入し、北消防署、南消防署へ配置する。

		筑波分署、荃崎分署にホース懸垂装置を設置する。
		中央消防署の排水設備を改修する。
平成6年	4月	消防本部4課制を4課1室制に改編する。 (総務課、職員課、予防広報課、警防課、通信指令室) 消防吏員22人、消防職員5人採用(職員数273人)
	6月	中央消防署冷暖房設備改修する。
	10月	訓練塔車庫増築
平成6年	2月	山之内製薬株式会社から、高規格救急自動車1台の寄贈を受ける。 中央消防署配置のはしご自動車(32M級)を四輪操舵傾斜矯正装置付の40M級はしご自動車に更新する。
	4月	消防吏員12人採用(職員数284人)
	6月	中央消防署、北消防署、南消防署に空調設備を設置する。
	10月	救急救命士2人となる。
平成7年	4月	消防吏員5人採用(職員数286人) 消防本部4課1室制を4課2室制に改編する。 (総務課、職員課、予防広報課、警防課、通信指令室、特殊災害対策室)
	8月	中央消防署配置の指令車を更新する。
	10月	救急救命士3人となる。 消防本部・署の交替制勤務者三部制となる。
	12月	中央消防署に化学防護服を配備する。
平成8年	1月	西分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	2月	南消防署配置の救急自動車を更新する。
	3月	新消防緊急通信指令施設(発信地表示システム、車両運用監視装置等の導入)の運用開始
	4月	消防吏員4人採用(職員数290人)
	5月	消防長木村操離任する。 消防本部次長慶野清消防長職務代理者となる。
	7月	西分署の連絡車を更新する。
	9月	中央署屈折はしご自動車をオーバーホールする。
	12月	つくば市長藤澤順一消防長事務取扱に就任する。
平成9年	2月	荃崎分署の水槽付消防ポンプ自動車及び救急自動車を更新する。 消防本部に連絡車を購入、配置する。 震災対策事業として、中央署に救護所用エアーテント一式を配備する。
	4月	救急救命士4人となる。
	7月	筑波分署、荃崎分署配置の連絡車を更新する。
	12月	通信指令室緊急通報システム受信センター装置を更新する。
平成10年	2月	中央消防署配置の救助工作車を更新する。 筑波分署配置の救急自動車を更新し、南消防署に高規格救急自動車を配置する。
平成10年	3月	中央消防署旧訓練塔を解体し場内を整備改修する。 救急救命士5人となる。 消防長藤澤順一離任する。
	4月	消防本部次長慶野清消防正監に昇任し、消防長に就任する。

		フィリピンに救急自動車を寄贈する。
	11月	救急救命士6人となる。
平成11年	1月	桜分署配置の救急自動車を変更し、北消防署に高規格救急自動車を配置する。
	3月	筑波分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	北消防署、南消防署の連絡車を更新する。
	10月	119番FAXの運用を開始する。
	11月	救急救命士7人となる。
平成12年	1月	西分署の救急自動車を更新する。
	2月	消防本部の指揮車、中央消防署の資材搬送車を更新する。
	5月	中央消防署の連絡車を更新する。
	9月	桜分署の救急自動車を更新する。
		キューバ共和国に救急自動車を寄贈する。
	11月	救急救命士8人となる。
平成13年	2月	中央消防署、北消防署及び南消防署に化学災害・放射線災害用資器材を配備する。
	3月	救急救命士9人となる。
	5月	消防本部及び全署所にインターネットを接続する。
	6月	ホームページを開設する。
		消防本部配置の連絡車（軽）2台を1台の普通自動車ワゴンタイプに更新する。
		中央消防署事務室及び食堂の空調設備改修、増設工事を行う。
	7月	通信指令室に危険性物質検索システムを導入する。
	8月	北消防署に防火水槽型放水試験場を設置する。
	9月	救急救命士10人となる。
平成14年	3月	総務省消防庁から生物・化学テロ対応資機材を貸与される。
		中央消防署配置の化学消防ポンプ自動車を更新する。
	10月	筑南地方広域行政事務組合解散する。
	11月	つくば市に荃崎町が編入合併する。合併に伴い「つくば市消防本部」に名称を変更し、消防本部4課2室制を4課1室制（消防総務課、予防広報課、警防課、通信指令室、地域消防課）に改め、西分署を豊里分署に改める。
		救急救命士11人となる。
平成15年	2月	中央消防署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	消防長慶野清退任する。
	4月	消防本部次長大沼勝美消防正監に昇任し、消防長に就任する。 (職員数286人)
	10月	災害通知メール配信サービスを開始する。
平成15年	12月	救急救命士12人となる。
平成16年	3月	都道府県指揮隊、救助隊、救急隊、消火隊、はしご隊及び毒物対応隊の6隊を緊急消防援助隊として登録する。
		中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	消防吏員3人採用（職員数288人）
		非常時災害情報収集Webカメラシステムの運用を開始する。
		救急救命士15人となる。

	10月	南消防署に高圧噴霧放水銃インパルス消火システムを配備する。 つくば市消防本部 30 周年記念式典を開催する 30 周年記念誌「消防本部のあゆみ」を刊行する。
平成 17 年	12月	救急救命士 16 人となる。
	2月	中央消防署配置の消防ポンプ自動車を更新する。
	3月	中央消防署桜分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	消防吏員 2 人採用（職員数 290 人）
	5月	救急救命士 17 人となる。
平成 18 年	10月	北消防署・南消防署配置の指令車を更新する。（2 台）
	12月	救急救命士 18 人となる。
	3月	中央消防署桜分署の救急車を高規格救急車に更新する。 高機能消防指令センター装置を更新する。
	4月	消防本部 4 課 1 室制を 5 課制（消防総務課、予防広報課、警防課、消防指令課、地域消防課）に改編する。 消防吏員 13 人採用（職員数 303 人） 救急救命士 19 人となる。
	12月	北消防署筑波分署の救急車を高規格救急車に更新する。 中央消防署配置の屈折はしご自動車を 15M 級はしご自動車に更新する。
平成 19 年	4月	消防吏員 15 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 27 人となる。
	10月	携帯電話・I P 電話発信地位置情報通知システム装置を導入する。
	11月	北消防署筑波分署の小型動力ポンプ付積載車を更新する。
平成 20 年	3月	南消防署荃崎分署の救急車を高規格救急車に更新する。 消防長大沼勝美退任する。
	4月	消防本部次長口本信一消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 313 人） 救急救命士 29 人となる。 並木一丁目 2 番地 3 に中央消防署並木分署を竣工、水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急車、連絡車各 1 台を配置し業務を開始する。 （1 本部 3 署 5 分署）
	11月	南消防署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	消防長口本信一退任する。
平成 21 年	4月	市長事務部局細田元久消防長に就任する。 消防吏員 5 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 31 人となる。
	12月	北消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	3月	中央消防署豊里分署の救急車を高規格救急車に更新する。 消防長細田元久退任する。
平成 22 年	4月	市長事務部局川村晴一消防長に就任する。 消防吏員 6 人採用（職員数 315 人）
	2月	南消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
平成 23 年	3月	総務省消防庁から緊急消防援助隊支援車が無償使用として配備される。 中央消防署の指揮車を更新する。

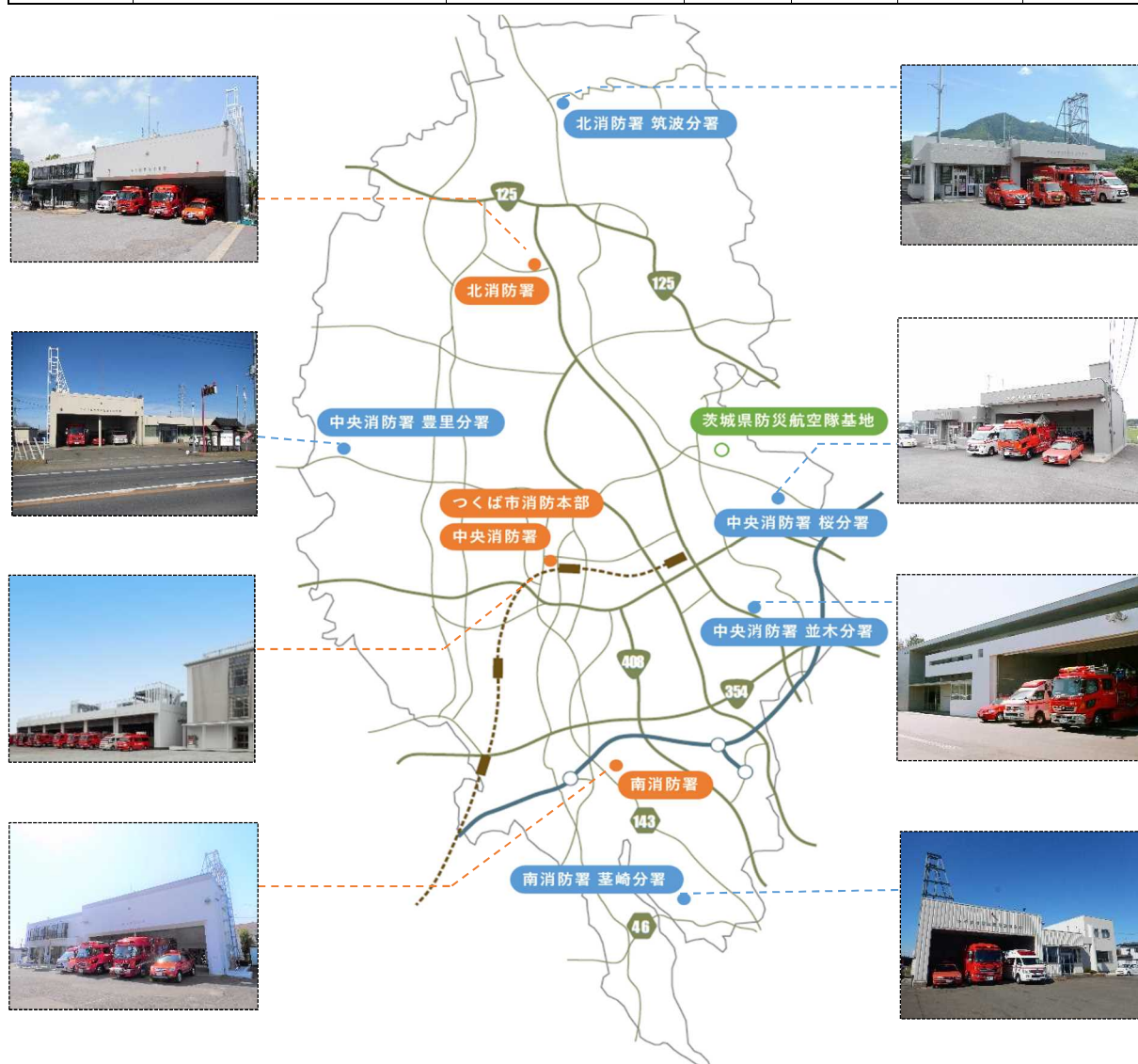
		消防長川村晴一退任する。
	4月	消防本部次長糸賀善巳消防正監に昇任し、消防長に就任する。 救急救命士 34 人となる。
平成 24 年	12月	財団法人救急振興財団から、救急普及啓発広報車の寄贈を受ける。
	2月	中央消防署配置の大型水槽車を小型動力ポンプ付大型水槽車に更新する。
	3月	消防長糸賀善巳退任する。 北消防署配置の高規格救急車を更新する。
	4月	消防本部次長北嶋清消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 313 人） 救急救命士 35 人となる。
平成 25 年	3月	中央消防署配置の高規格救急車を更新する。 総務省消防庁から緊急消防援助隊用の重機搬送車及び 3 t 重機を無償使用として配備される。 消防長北嶋清退任する。
	4月	中央消防署署長櫻井正昭消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 6 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 40 人となる。 総務省消防庁から緊急消防援助隊用の可搬衛星地球局一式を無償使用として配備される。
	6月	南消防署の救助工作車を更新する。
平成 26 年	3月	消防長櫻井正昭退任する。
	4月	消防本部次長中澤満夫消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 3 人採用（職員数 314 人） 救急救命士 44 人となる。
平成 27 年	2月	つくば市研究学園一丁目 1 番地 1 に消防本部・中央消防署庁舎竣工する。
	3月	消防本部・中央消防署、新庁舎に移転し業務を開始する。 高機能消防指令センター装置を更新する。 北消防署の救助工作車を更新する。
	4月	消防吏員 9 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 48 人となる。
平成 28 年	2月	中央消防署桜分署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	消防長中澤満夫退任する。
	4月	消防本部次長大山裕幸消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 10 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 51 人となる。
	10月	消防吏員 2 人採用（職員数 315 人）
	11月	中央消防署豊里分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
平成 29 年	2月	北消防署筑波分署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	つくば市職員定数条例が一部改正され、消防職員の定数が 350 名となる。
	4月	消防吏員 6 人採用（職員数 315 人） 救急救命士 55 人となる。
	10月	消防吏員 12 人採用（職員数 327 人）
	12月	南消防署荃崎分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。

平成 30 年	2 月	中央消防署の救助工作車を更新する。 高度救助用資機材を購入する。
	3 月	消防長大山裕幸退任する。
	4 月	消防本部次長植木利男消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 17 人採用（職員数 333 人） 救急救命士 63 人となる。
平成 31 年	10 月	消防吏員 11 人採用（職員数 342 人）
	2 月	中央消防署配置の 40M 級はしご自動車を更新する。
	3 月	中央消防署並木分署配置の高規格救急車を更新する。
令和元年	4 月	消防吏員 13 人採用（職員数 330 人） 救急救命士 72 人となる。 特別高度救助隊を発足する。 特殊災害対応隊を発足する。 山岳救助対応隊を発足する。
	10 月	消防吏員 4 人採用（職員数 331 人）
	令和 2 年	3 月
令和 3 年	4 月	消防本部 5 課制を 6 課制（消防総務課、予防広報課、消防救助課、救急課、消防指令課、地域消防課）に改編する。 消防吏員 7 人採用（職員数 332 人） 救急救命士 78 人となる。 北消防署筑波分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。 消防職員向け一斉配信メールを開始する。
	10 月	消防吏員 4 人採用（職員数 335 人） 救急救命士 80 人となる。
	3 月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を化学消防ポンプ自動車で仕様変更し配置する。 消防本部の指揮車を更新する。 中央消防署に高規格救急車を新規配置する。
令和 4 年	4 月	消防吏員 11 人採用（職員 334 人） 救急救命士 82 人となる。 中央消防署に日勤救急隊を創設し運用を開始する。
	10 月	消防吏員 5 人採用（職員 337 人） 救急救命士 83 人となる。
	12 月	南消防署荃崎分署配置の高規格救急車を更新する。
令和 4 年	2 月	北消防署筑波分署配置の指令車を更新する。 中央消防署配置の資材搬送車を更新する。
	3 月	中央消防署豊里分署配置の高規格救急車を更新する。 消防長植木利男退任する。
	4 月	消防本部次長木村勝平消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員 16 人採用（職員 339 人） 救急救命士 93 人となる。
	10 月	消防吏員 5 人採用（職員 342 人）

令和5年	10月	救急救命士94人となる。
	3月	中央消防署桜分署配置の指令車を更新する。 南消防署荃崎分署配置の指令車を更新する。 北消防署配置の高規格救急車を更新する。 つくば市職員定数条例が一部改正され、消防職員の定数が365名となる。 消防長木村勝平退任する。
令和6年	4月	消防本部次長青木孝徳消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員12人採用（職員340人） 救急救命士95人となる。
	10月	消防吏員4人採用（342人）
	3月	中央消防署桜分署配置の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	組織改正に伴い予防広報課を予防課に改める。 消防吏員11人採用（348人） 救急救命士100人となる。
令和7年	12月	中央消防署の化学消防ポンプ自動車を特殊災害対応自動車に仕様変更し配置する。 中央消防署配置の高規格救急車を更新する。
	3月	中央消防署配置の消防ポンプ自動車を更新する。
	4月	消防吏員10人採用（330人） 救急救命士96人となる。
	10月	消防吏員2人採用（332人） 救急救命士97人となる。
令和8年	11月	高機能消防指令センター装置を更新する。 中央消防署桜分署配置の高規格救急車を更新する。
	2月	非常用高規格救急車を更新する。
	3月	北消防署配置の指揮車を更新する。 南消防署配置の指揮車を更新する。 消防長青木孝徳退任する。
	4月	消防本部次長松岡幹夫消防正監に昇任し、消防長に就任する。 消防吏員15人採用（342人） 救急救命士107人となる。

## 4 消防機関の名称・配置

名称	位置	建物構造	面積 (㎡)			竣工年月
			建築面積	延べ面積	敷地面積	
消防本部	つくば市研究学園一丁目1番地1	庁舎・車庫棟 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建 訓練塔 鉄骨造5階建	2,519.30	4,558.81	13,313.99	平成27年 2月
中央消防署						
〃 豊里分署	つくば市上郷606番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	404.25	393.65	3,406.26	昭和57年 6月
〃 桜分署	つくば市金田2040番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	384.20	370.90	1,700.27	平成元年 10月
〃 並木分署	つくば市並木一丁目2番地3	鉄筋コンクリート造 2階建	518.40	745.52	3,000.00	平成20年 4月
北消防署	つくば市上沢3番地	鉄筋コンクリート造 2階建	522.45	710.32	4,989.73	昭和52年 7月
〃 筑波分署	つくば市沼田644番地	鉄筋コンクリート造 平屋建一部鉄骨2階建	335.92	384.22	1,481.94	昭和62年 3月
南消防署	つくば市観音台一丁目25番地3	鉄筋コンクリート造 2階建	518.87	739.53	3,500.00	昭和56年 4月
〃 荃崎分署	つくば市小荃563番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建一部鉄骨2階建	344.18	391.59	1,377.00	昭和62年 3月



## 5 応援協定・業務協定

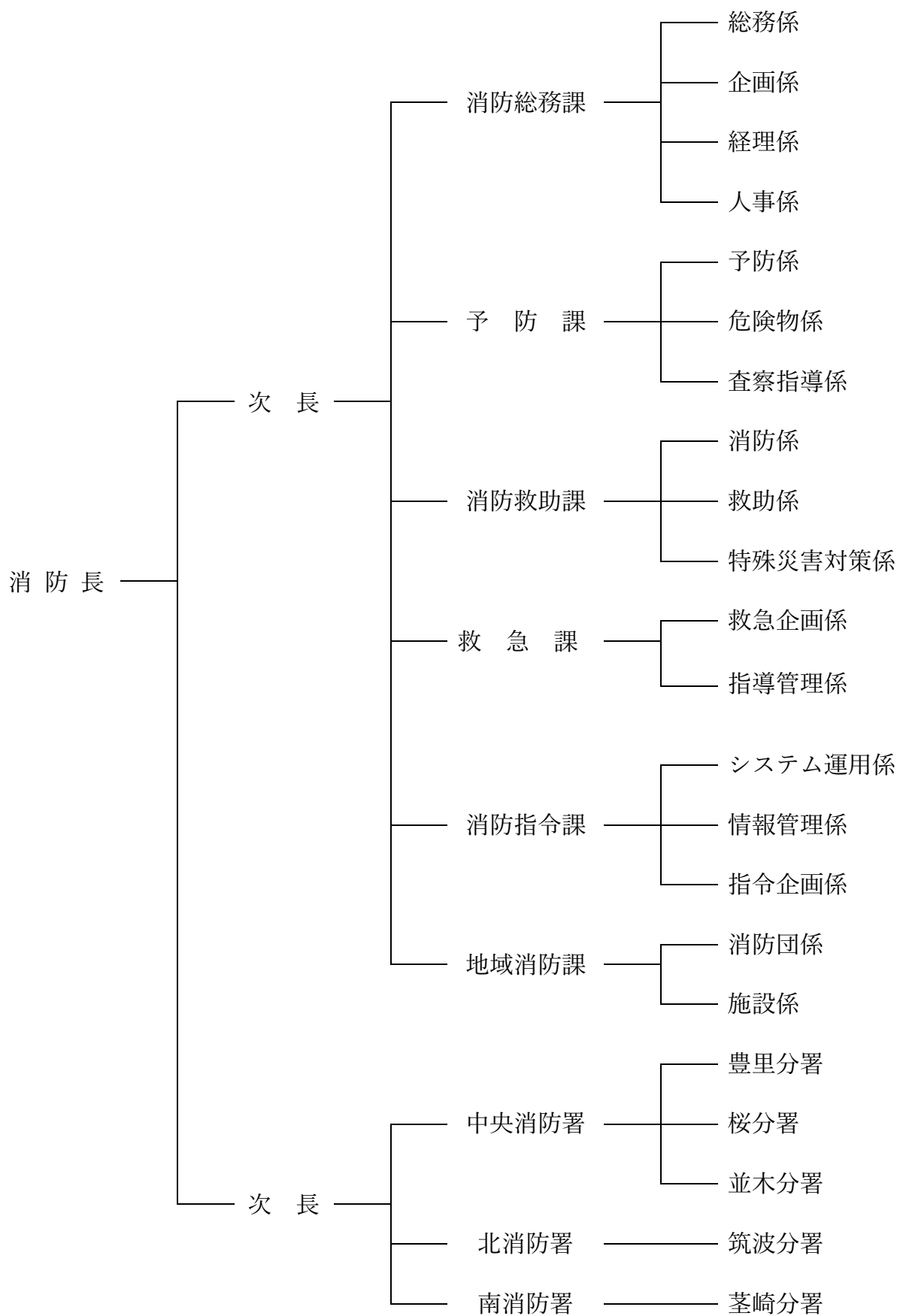
消防相互応援協定等の締結状況 (2026年4月1日現在)

協定等の名称・協定先	対象災害	応援体制(計画)	締結・最終改正年月日
・消防相互応援協定 ・近隣市町村	火災・救急(一部水害、警戒等含む)	普通応援 特別応援	昭和52年 平成27年7月23日 (改正)
・茨城県高速自動車道等における消防相互応援協定書 ・沿線市町村	火災・救急事故及びその他の災害	別に定める協定出場区域表に基づき行う。	昭和59年3月20日 令和7年3月7日 (改正)
・茨城県広域消防相互応援協定 ・茨城県下の全市町村	応援活動を必要とする全災害	別に定める応援隊編成表に基づき行う。	平成元年4月1日 平成29年3月6日 (改正)
・大規模災害消防応援実施計画 ・全国消防長会(全国の消防機関)	地震、台風、火山噴火等による大規模災害(当該地域の通常の消防体制では対応困難な場合)	応援出動計画(茨城県消防長会)に基づき行う。	平成7年10月19日 令和4年4月19日 (改正)
・緊急消防援助隊 ・総務省消防庁(全国の消防機関)	国内における地震等の大規模災害(当該地域の通常の消防体制では対応困難な場合)	大規模災害消防応援実施計画に伴う応援出動計画(茨城県消防長会)に準ずる。	平成7年10月30日 令和4年4月19日 (改正)
・大規模特殊災害時における広域航空消防応援隊 ・総務省消防庁(防災ヘリコプター保有市町村及び都道府県)	防災ヘリコプターを使用することが消防活動に極めて有効であると考えられる災害	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱の別表に基づき行う。	平成4年3月23日 令和3年7月1日 (改正)

業務提携の締結状況

協定先	協定内容	締結年月日
東京ガス株式会社常総支社・つくば支社	申し合わせ(一部変更)	昭和56年9月1日 (平成28年11月1日)
茨城県(つくばヘリポート)	業務協定	平成3年3月29日
陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地	業務協定(一部改正)	昭和56年9月20日 (平成8年1月20日)
東日本旅客鉄道株式会社	業務協定	平成19年6月1日
筑波観光鉄道株式会社	業務協定	平成19年8月23日
首都圏新都市鉄道株式会社 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	業務協定	平成21年3月27日
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	業務協定	平成22年1月15日
国立研究開発法人産業技術総合研究所	業務協定	平成22年2月18日
国立研究開発法人物質・材料研究機構	業務協定	平成23年2月16日
公益財団法人筑波メディカルセンター病院 国立大学法人筑波大学附属病院.	業務協定	平成23年4月28日
一般財団法人日本自動車研究所	業務協定	平成23年8月8日
国立研究開発法人理化学研究所筑波研究所	業務協定	平成25年2月12日
陸上自衛隊施設学校 東日本高速株式会社関東支社谷和原管理事務所	申し合わせ	平成29年1月20日

## 6 組織体制



## 7 消防本部の事務分掌

課名	係名	事務分掌
消防総務課	総務係	(1) 公印の管守に関する事。 (2) 文書の收受、発送及び保存又は管理に関する事。 (3) 儀式及び各種会議並びに渉外に関する事。 (4) 消防協力者の表彰に関する事。 (5) 消防職員委員会に関する事。 (6) 消防長の権限に属する消防関係例規の制定及び改廃に関する事。 (7) 消防総務に係る広報、広聴及び報道に関する事。 (8) 消防音楽隊に関する事。 (9) 他の課等の所管に属さない事。
	企画係	(1) 消防事務に係る重要施策及び重要事業の企画、調整及び進行管理に関する事。 (2) 消防関係諸機関との連絡調整に関する事。 (3) 消防統計に関する事。 (4) 消防年報の編集発行に関する事。
	経理係	(1) 消防本部の予算及び決算の取りまとめに関する事。 (2) 諸手数料等の徴収に関する事。 (3) 消防施設の整備及び維持管理に関する事。 (4) 物品の管理に関する事。
	人事係	(1) 消防職員の人事、服務、給与及び福利厚生に関する事。 (2) 消防職員の教育訓練及び研修に関する事。 (3) 消防職員の表彰に関する事。 (4) ハラスメントの防止に関する事。
予防課	予防係	(1) 建築確認等の同意に関する事。 (2) 消防用設備の設置指導及び検査に関する事。 (3) 防火管理及び防火基準適合表示等に関する事。 (4) 防火管理者の講習、資格管理及び指導育成に関する事。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。 (6) 火災調査資料の収集及び分析に関する事。 (7) 火災予防対策及び各種防火運動に関する事。 (8) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火・防災クラブの指導育成に関する事。 (9) 防火委員会に関する事。 (10) 火災(り災)証明、その他予防証明に関する事。 (11) 火災統計、その他予防統計に関する事。 (12) 火災予防に係る広報、広聴及び報道に関する事。 (13) 他の係の所管に属さない事。

課 名	係 名	事 務 分 掌
予 防 課	危 険 物 係	(1) 危険物製造所等の許認可に関すること。 (2) 危険物製造所等の規制及び査察に関すること。 (3) 危険物取扱者の指導に関すること。 (4) 危険物災害の調査に関すること。 (5) 危険物統計に関すること。 (6) 危険物製造所等の証明に関すること。 (7) 危険物安全協会に関すること。 (8) 火薬類取締法(昭和 25 年法律第 149 号)に関すること。
	査 察 指 導 係	(1) 査察実施基本計画に関すること。 (2) 防火対象物に係る調査、企画及び調整に関すること。 (3) 防火対象物に係る査察、指導等に関すること。 (4) 防火対象物の違反処理に関すること。
消 防 救 助 課	消 防 係	(1) 警防業務の企画立案に関すること。 (2) 火災、風水害その他災害の対策に関すること。 (3) 消防相互応援及び警防計画に基づく関係機関との連絡調整に関する こと。 (4) 非常招集に関すること。 (5) 消防隊の運用計画及び観察に関すること。 (6) 火災、風水害その他災害に係る広報、広聴及び報道に関すること。 (7) 消防車両及び消防機器等の配備、整備その他維持管理に関するこ と。 (8) 消防技術の調査、研究及び指導に関すること。 (9) 開発行為に関すること。 (10) 警防統計に関すること。 (11) 他の係の所管に属さないこと。
	救 助 係	(1) 救助の企画立案に関すること。 (2) 救助対策に関すること。 (3) 救助統計に関すること。 (4) 救助技術の調査、研究及び指導に関すること。 (5) 救助資機材の管理に関すること。 (6) 救助高度化事業に関すること。 (7) 救助車両及び救助機器等の配備、整備その他維持管理に関するこ と。
	特 殊 災 害 対 策 係	(1) 特殊災害及び化学災害に係る警防計画の策定及び消防対策に関す ること。 (2) 特殊災害及び化学災害事象の調査及び分析に関すること。 (3) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 (昭和 42 年法律第 149 号) 等に基づく意見書の交付に関すること。

課 名	係 名	事 務 分 掌
救 急 課	救急企画係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急の企画立案に関する事。</li> <li>(2) 救急対策に関する事。</li> <li>(3) 救急統計に関する事。</li> <li>(4) 救急証明に関する事。</li> <li>(5) 救急車両及び救急機器等の配備、整備その他維持管理に関する事。</li> <li>(6) 救急業務に係る広報、広聴及び報道に関する事。</li> </ul>
	指導管理係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急技術の調査、研究及び指導に関する事。</li> <li>(2) 救急医療機関との連絡調整に関する事。</li> <li>(3) 救急資機材の管理に関する事。</li> <li>(4) 患者等搬送事業指導及び認定に関する事。</li> <li>(5) つくば・常総地区メディカルコントロール体制に関する事。</li> <li>(6) 応急手当講習に関する事。</li> </ul>
消防指令課	システム運用係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防緊急情報システムの調整及び管理運用に関する事。</li> <li>(2) 通信技術の研究及び指導に関する事。</li> <li>(3) 消防通信連絡及び通信統制に関する事。</li> <li>(4) 出動命令に関する事。</li> </ul>
	情報管理係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 通信施設及び機器等の管理及び配備計画に関する事。</li> <li>(2) 防災関係機関及び医療機関等との連絡調整に関する事。</li> <li>(3) 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関する事。</li> <li>(4) 出動状況の把握、調整等に関する事。</li> </ul>
	指令企画係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防指令業務に係る広報、広聴及び報道に関する事。</li> <li>(2) 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会に関する事。</li> <li>(3) その他消防指令事務に関する事。</li> </ul>
地域消防課	消 防 団 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防団の組織及び運営に関する事。</li> <li>(2) 消防団員の任免、表彰及び報酬等に関する事。</li> <li>(3) 消防団員の公務災害補償、福利厚生及び健康管理に関する事。</li> <li>(4) 消防団員の教育訓練に関する事。</li> <li>(5) 消防団員の被服に関する事。</li> <li>(6) 消防協会に関する事。</li> <li>(7) つくば市森林火災防止協会に関する事。</li> <li>(8) 水防に関する事。</li> <li>(9) 自衛消防に関する事。</li> <li>(10) 関係機関との連絡調整に関する事。</li> <li>(11) 消防団に係る広報、広聴及び報道に関する事。</li> <li>(12) 他の係の所管に属さない事。</li> </ul>

課 名	係 名	事 務 分 掌
地域消防課	施 設 係	(1) 防火水槽及び消火栓の設置及び管理等に関すること。 (2) 消防団無線の管理及び運用に関すること。 (3) 消防団車両及び施設等の整備及び管理に関すること。 (4) 消防団車両及び施設等の整備のための補助金申請に関すること。 (5) 消防団の各種契約及び検収等に関すること。

## 8 消防署の事務分掌

係名	事務分掌
総務係	(1) 公印の管守に関する事。 (2) 文書の收受、発送及び保管に関する事。 (3) 署員の人事、給与及び福利厚生等に関する事。 (4) 庁舎の維持管理及び備品の保管に関する事。 (5) 他の係の主管に属さない事。
予防係	(1) 建築物等の確認同意に関する事。 (2) 火災原因及び損害の調査に関する事。 (3) 火災予防思想の普及に関する事。 (4) 予防査察に関する事。 (5) 防火管理に関する事。 (6) 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。 (7) 火災予防条例に定められた各種届出の処理に関する事。 (8) 高圧ガス等の火災予防指導に関する事。
消防救助係	(1) 火災その他の災害の警戒防衛及び救助業務に関する事。 (2) 消防地理、水利、建物等の調査に関する事。 (3) 消防活動上支障となる届出に関する事。 (4) 消防用自動車、消防用資機材等の管理に関する事。 (5) 機関員の技術監理に関する事。 (6) 消防隊及び救助隊の訓練に関する事。 (7) 消防統計及び救助統計に関する事。
救急係	(1) 救急業務に関する事。 (2) 救急用自動車、救急用資機材等の管理に関する事。 (3) 応急手当の普及に関する事。 (4) 救急隊の訓練に関する事。 (5) 救急統計に関する事。

## 9 防火団体

### (1) つくば市危険物安全協会

事務局 消防本部予防課 設 立 昭和 56 年 4 月 1 日  
 会 員 数 177 事業所 (2026 年 4 月 1 日現在)

- ◎ 危険物の製造、貯蔵又は取扱いの管理についての研究に関する事
- ◎ 関係法令の研究及び周知徹底に関する事
- ◎ 危険物に起因する災害予防に関する宣伝及び講習会、映画会等の開催
- ◎ 危険物取扱者のための講習会等の開催
- ◎ 関係図書を購入、頒布及び斡旋に関する事
- ◎ その他、本会の目的を達成するために必要と認める事項

### (2) つくば市幼年・少年・女性防火・防災委員会

事務局 消防本部予防課 設 立 昭和 62 年 7 月 13 日  
 クラブ数 10 クラブ (2026 年 4 月 1 日現在)

- ◎ 消防クラブ等の育成指導及び設立拡充に関する事
- ◎ 家庭及び地域における防火・防災の普及、火災予防思想の高揚に関する事
- ◎ 消防クラブ等の運営助成に関する事
- ◎ 一般財団法人日本防火・防災協会及びその他の団体等に対する交付金及び物件等の交付申請に関する事
- ◎ 消防クラブ等及びクラブ員の表彰に関する事
- ◎ 消防クラブ等相互間の連絡、調整に関する事
- ◎ その他委員会の目的達成のために必要と認める事業に関する事

幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火・防災クラブ設立状況

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
並木 保育所 幼年消防クラブ	つくば市並木四丁目 2-3	昭和 62 年 10 月 3 日	106 名
大穂 幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市篠崎 557-1	昭和 63 年 10 月 9 日	18 名
田中 保育園 幼年消防クラブ	つくば市水守 554	昭和 63 年 11 月 16 日	80 名
上郷 保育所 幼年消防クラブ	つくば市上郷 2499	平成 2 年 10 月 1 日	52 名
今鹿島保育所 幼年消防クラブ	つくば市今鹿島 5087	平成 2 年 10 月 1 日	46 名
上郷 幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市上郷 2499	平成 15 年 11 月 11 日	11 名
わかば保育園 幼年消防クラブ	つくば市谷田部 2061	平成 16 年 11 月 25 日	95 名
みのり幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市高崎 643-9	平成 16 年 11 月 25 日	185 名
かやまるこども園幼年消防クラブ	つくば市上萱丸 154-1	令和 4 年 10 月 6 日	100 名
荃崎 幼稚園 幼年消防クラブ	つくば市小荃 798-1	令和 5 年 4 月 1 日	33 名

内 訳 幼年消防クラブ員 (10 クラブ) 合計 726 名

## 第2章 資料

### 第1節 総務編



## 1 令和8年度つくば市一般会計予算（歳出）

款	区分	金額（千円）	構成比
議	会 費	522,820	0.4%
総	務 費	10,462,336	8.5%
民	生 費	55,961,466	45.6%
衛	生 費	9,973,478	8.1%
労	働 費	79,455	0.1%
農	林水産業費	1,642,571	1.3%
商	工 費	1,353,462	1.1%
土	木 費	10,358,693	8.5%

款	区分	金額（千円）	構成比
消	防 費	4,260,479	3.5%
教	育 費	19,292,374	15.7%
災	害復旧費	1	0.0%
公	債 費	7,842,114	6.4%
諸	支 出 金	760,751	0.6%
予	備 費	200,000	0.2%
合	計	122,710,000	100.0%

### 消防費の内訳

目	区 分	金 額（千円）	構 成 比
常	備 消 防 費	3,458,505	81.1%
非	常 備 消 防 費	438,158	10.3%
消	防 施 設 費	361,256	8.5%
水	防 費	2,560	0.1%
合	計	4,260,479	100%

## 2 消防予算と人口・世帯の割合

（2026年4月1日現在）

消 防 予 算 （千円）	人 口 （人）	世 帯 数	市民1人あたりの 消防費（円）	1世帯あたりの 消防費（円）
4,260,479	注1 261,933	122,691	16,265	34,725

注1：つくば市行政区別人口統計表の数値を掲載

### 3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

区分	年別	H29	H30	H31	R2	R3
人口		226,781	230,310	233,868	238,014	242,866
世帯		97,017	99,131	101,706	104,782	108,194
面積 (km <sup>2</sup> )		283.72	283.72	283.72	283.72	283.72
人口密度		799.3	811.7	824.3	839.0	856.0

区分	年別	R4	R5	R6	R7	R8
人口		247,399	252,286	254,949	258,951	261,933
世帯		111,071	114,736	116,904	120,200	122,691
面積 (km <sup>2</sup> )		283.72	283.72	283.72	283.72	283.72
人口密度		872.0	889.2	898.6	912.7	923.2

### 4 消防力の現勢

(2026年4月1日現在)

区 分		現 有 数
消 防 吏 員		342 人
署 所		8 署所
消 防 用 自 動 車 等	消 防 ポンプ自動車	9 (2) 台
	は し ご 車	2 台
	化 学 消 防 ポンプ車	1 台
	特 殊 災 害 対 応 自 動 車	1 台
	高 規 格 救 急 車	11 (2) 台
	救 助 工 作 車	3 台

( ) うち非常用車両

## 5 消防職員の配置

(2026年4月1日現在)

階級別 配置別		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職
総数		355	1	6	34	89	44	51	67	49	14
消 防 本 部	小計	76	1	3	19	20	16	6	4		7
	消防長	1	1								
	次長	2		2							
	企画監	※(1)			※(1)						
	消防総務課	12			3	4	3	1			1
	予防課	12			3	3	2	2	1		1
	消防救助課	15			6	4	5				
	救急課	8			2	2		2	2		
	消防指令課	19		1	5	5	5	1	1		1
	地域消防課	7				2	1				4
中 央 消 防 署	小計	75		1	4	15	7	14	20	13	1
	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	日勤者	4				1	2				1
	一班	23			1	4	3	4	6	5	
	二班	23			1	5	1	5	7	4	
	三班	23			1	5	1	5	7	4	
豊 里 分 署	小計	23			1	9		4	5	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				3		1	2	1	
	二班	7				3		2	1	1	
	三班	7				3		1	2	1	
桜 分 署	小計	23			1	8	1	3	6	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				2	1	1	2	1	
	二班	7				3		1	2	1	
	三班	7				3		1	2	1	
並 木 分 署	小計	26			1	6	3	3	9	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	8				2	1	1	3	1	
	二班	8				2	1	1	3	1	
	三班	8				2	1	1	3	1	

※消防総務課職員兼務

階級別 配置別		總 數	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職
北 消 防 署	小計	43		1	3	9	6	8	5	11	
	署長	1		1							
	日勤者	3				1	2				
	一班	13			1	3	1	3	1	4	
	二班	13			1	2	2	3	2	3	
三班	13			1	3	1	2	2	4		
筑北 波消 分防 署署	小計	23			1	7	2	3	6	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				2	1	1	2	1	
	二班	7				2	1	1	2	1	
三班	7				3		1	2	1		
南 消 防 署	小計	43		1	3	9	6	7	7	10	
	署長	1		1							
	日勤者	3				1	2				
	一班	13			1	2	2	3	1	4	
	二班	13			1	3	1	2	3	3	
三班	13			1	3	1	2	3	3		
荃南 崎消 分防 署署	小計	23			1	6	3	4	5	3	1
	分署長	1			1						
	日勤者	1									1
	一班	7				2	1	1	2	1	
	二班	7				2	1	1	2	1	
三班	7				2	1	2	1	1		



## 6 消防吏員の年齢表

(2026年4月1日現在)

区分 年齢別	総数	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
総数	342	1	6	34	89	44	52	67	49
18歳	4								4
19歳	2								2
20歳	7								7
21歳	2								2
22歳	12								12
23歳	8							1	7
24歳	8							3	5
25歳	11							6	5
26歳	18							16	2
27歳	16							14	2
28歳	9						1	7	1
29歳	17						8	9	
30歳	16						11	5	
31歳	8						6	2	
32歳	11						9	2	
33歳	7					1	6		
34歳	8					3	4	1	
35歳	4					2	2		
36歳	4					2	2		
37歳	3					2	1		
38歳	3					2		1	
39歳	6					6			
40歳	6					5	1		
41歳	6				4	2			
42歳	9				7	2			
43歳	3				2	1			
44歳	7				6	1			
45歳	3				2	1			
46歳	1				1				
47歳	1				1				
48歳	1				1				
49歳	3				3				
50歳	6				6				
51歳	15				13	2			
52歳	19			5	11	2	1		
53歳	16			2	13	1			
54歳	13			6	7				
55歳	5			3	2				
56歳	13		2	7	4				
57歳	10		1	6	3				
58歳	6		1	3	2				
59歳	6	1	2	2	1				
60歳以上	9					9			

※平均年齢 38.9歳（最高齢61歳、最低齢18歳）

## 7 消防吏員の勤務年数

(2026年4月1日現在)

勤務年数別	区分	総 数	消 防 吏 員							
			消 正 防 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
総 数		342	1	6	34	89	44	52	67	49
1年未満		17								17
1年以上 5年未満		58					1	1	25	31
5年以上 10年未満		73						30	42	1
10年以上 15年未満		29					9	20		
15年以上 20年未満		29				10	19			
20年以上 25年未満		15				14	1			
25年以上 30年未満		0								
30年以上 35年未満		60		1	10	44	4	1		
35年以上		61	1	5	24	21	10			

## 8 消防職員の変遷（過去10年間）

(各年4月1日現在)

年 別 区 分		H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
		条 例 定 数	350	350	350	350	350	350	365	365	365
実 員	消防吏員	305	323	320	320	321	323	325	335	330	342
	その他の 職 員	10	10	10	12	13	16	15	13	13	13

## 9 消防職員の教養

(令和7年度)

区分／科・課程		内 容	日数	回数	人員	
消 防 大 学 校	実 務 講 習	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	13	1	1
		緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	20	1	1
茨 城 県 立 消 防 学 校	初 任 教 育	初 任 科	新たに採用された消防職員に対して職務の遂行に必要な基礎知識と技能を習得させる。	103	2	9
	専 科 教 育	警 防 科	大規模化、複雑多様化する災害に対応できる専門的知識及び技術を習得させる。	14	1	2
		予 防 査 察 科	予防業務に関する知識及び技術を修得させるとともに、査察員としての資質を向上させる。	9	1	2
		火 災 調 査 科	火災調査業務の原因調査・損害調査及び鑑識能力を専門的に習得させる。	10	1	2
		救 急 科	救急隊員になるための専門的な知識及び技術を修得させる。	36	2	4
		救 助 科	災害現場における救助活動に必要な専門知識及び技術を習得させる。	25	1	3
		特 殊 災 害 科	特殊かつ異様な災害への対応を含め、災害の態様に応じた的確な消防活動要領を理解及び習得させる。	7	1	2

区分／科・課程		内 容	日数	回数	人員
総合研究所 放射線医学	N I R S 放射線 事故初動セミナー	放射線による被ばく若しくは放射性物質による汚染事象が起きた際の現場での対応、被災者の搬送などについて必要な知識と技能を修得し、各機関での中心的な役割を担える人材を養成する。	4	1	1
筑波大学	消防職員惨事ストレス 初級研修	消防職員の惨事ストレスに関する知識の学習とグループミーティングの基礎的な実習を通して、消防職員の惨事ストレス対策を推進する要員を養成する。	2	1	1
中央研修所 市町村職員	管理職の必須知識講座	コンプライアンスやハラスメント対策、個人情報保護など、管理職として必要不可欠な基礎知識を網羅的に学ぶことにより、職責の重要性を再認識するとともに、管理能力の向上を養成する。	3	1	1

## 10 職員表彰

(令和7年度)

表 彰 区 分		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防庁長官	永年勤続功労章		3						
日本消防協会	功績章	1							
	精績章		1						
	勤続章				5				
全国消防長会	消防特別功労表彰								
	永年勤続功労者表彰				2				
茨城県知事	功労章								
	永年勤続功労章（勤続40年以上）		1						
	永年勤続功労章（勤続30年以上）				5				
	永年勤続功労章（勤続20年以上）				2				
消防長	永年勤続功労章（勤続10年以上）						8		
茨城県消防協会	優良消防職員表彰			2					
	永年勤続消防職員妻女表彰				3				

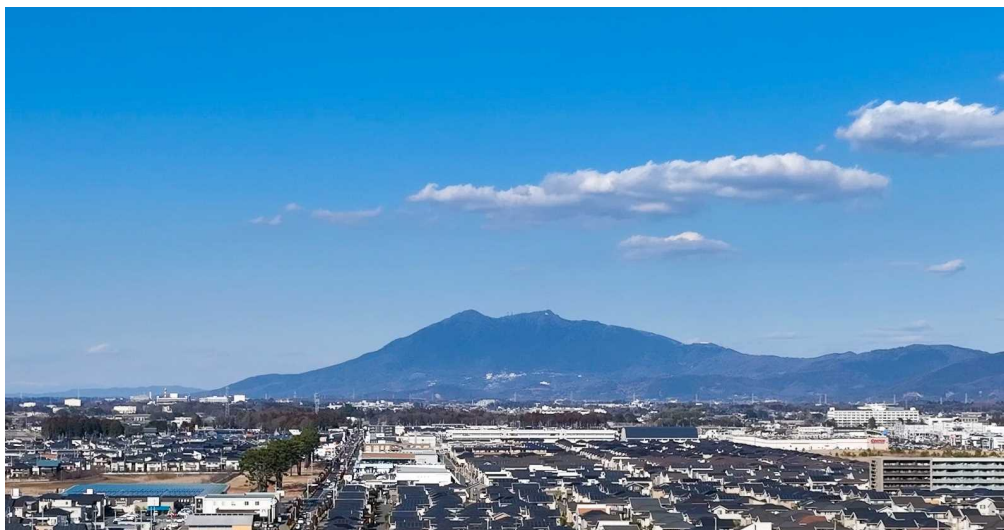
## 11 公務災害

### (1) 令和7年度中の公務災害認定請求件数

請求別	原因・治療別 計	発生原因別							計	主治療別						
		消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	通勤	その他		骨折	捻挫	打撲	挫創	切創	火傷傷	その他
請求	5	2		1	1	1			5		1			1		3
認定	4	2		1	1				4					1		3

### (2) 過去5年間の公務災害認定件数

請求別	原因・治療別 計	発生原因別							計	主治療別						
		消火活動	救助活動	救急活動	訓練	作業	通勤	その他		骨折	捻挫	打撲	挫創	切創	火傷傷	その他
令和3年度	2	1			1				2				1			1
令和4年度	0								0							
令和5年度	2				1			1	2	2						
令和6年度	2				2				2	2						
令和7年度	4	2		1	1				4					1		3



## 12 消防音楽隊

(1) 結 成 平成2年5月

(2) 編 成 隊 員 32名・専任講師1名

(3) 階級別編成 (2026年4月1日現在)

階 級	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
構成人員	32	4	11	6	5	6	0

(4) 楽器の保有状況

(2026年4月1日現在)

打楽器	数	金管楽器	数	木管楽器	数
コンサートグロッケン	1	トランペット	4	ピッコロ	2
スネアドラム	2	ホルン	3	フルート	5
バスドラム	3	ユーフォニウム	3	クラリネット	7
ドラムセット	2	テナートロンボーン	2	バスクラリネット	1
ティンパニ	4	バストロンボーン	1	アルトサクソ	3
シロフォン	1	チューバ	2	テナーサクソ	2
ビブラフォン	1	スーザフォン	2	バリトンサクソ	1
シンバル	2	弦楽器	数	鍵盤楽器	数
マーチングタム	1	エレキベース	1	シンセサイザー	1
ボンゴ	1	/			
チャイム	1				

(5) 活動状況

(令和7年度)

区 分	消 防 関 係	そ の 他	計
演奏回数	2	7	9

## 第2節 予防編



# 1 消防法第7条に基づく消防同意取扱い件数（申請別）

（令和7年度）

申請要旨	同 意	
	令和7年度	令和6年度
計	339	385
新 築	299	353
増 築	23	17
改 築	2	3
移 設	0	1
修 繕	1	1
模 様 替	1	0
用途変更	5	5
そ の 他	8	5

## 2 消防法7条に基づく消防同意取扱い件数（用途別）

（令和7年度）

防火対象物の用途区分			同 意	
			令和7年度	令和6年度
計			339	385
1項	イ	劇場等	0	0
	ロ	公会堂等	1	2
2項	イ	キャバレー等	0	0
	ロ	遊技場等	0	0
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0
3項	イ	料理店等	0	0
	ロ	飲食店	13	7
4項		百貨店等	14	18
5項	イ	旅館等	1	15
	ロ	共同住宅等	35	27
6項	イ	病院等	6	13
	ロ	特別養護老人ホーム等	7	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	15	10
	ニ	幼稚園等	0	0
7項		学校	10	8
8項		図書館等	0	0
9項	イ	特殊浴場	0	0
	ロ	一般浴場	0	0
10項		停車場	2	0
11項		神社・寺院等	0	2
12項	イ	工場等	9	8
	ロ	スタジオ	0	0
13項	イ	駐車場等	6	9
	ロ	航空機等格納庫	0	0
14項		倉庫	21	25
15項		事務所等	79	88
16項	イ	特定複合用途防火対象物	12	21
	ロ	非特定複合用途防火対象物	7	4
一般住宅			101	127

### 3 消防用設備等検査済証の交付件数

(令和7年度)

防火対象物の用途区分			計	所 属 別			
				本 部	中央消防署	北消防署	南消防署
計			436	191	121	52	72
1 項	イ	劇場等	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂等	5	3	0	2	0
2 項	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0
3 項	イ	料理店等	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	6	0	5	0	1
4 項		百貨店等	7	0	6	0	1
5 項	イ	旅館等	8	8	0	0	0
	ロ	共同住宅等	68	15	35	5	13
6 項	イ	病院等	12	5	4	1	2
	ロ	特別養護老人ホーム等	6	1	2	2	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	24	0	13	1	10
	ニ	幼稚園等	3	1	2	0	0
7 項		学校	54	46	7	1	0
8 項		図書館等	1	1	0	0	0
9 項	イ	特殊浴場	1	0	1	0	0
	ロ	一般浴場	0	0	0	0	0
10 項		停車場	0	0	0	0	0
11 項		神社・寺院等	0	0	0	0	0
12 項	イ	工場等	18	4	9	1	4
	ロ	スタジオ	0	0	0	0	0
13 項	イ	駐車場等	25	2	0	23	0
	ロ	航空機等格納庫	0	0	0	0	0
14 項		倉庫	22	12	2	1	7
15 項		事務所等	115	52	20	12	31
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	54	39	11	2	2
	ロ	非特定複合用途防火対象物	7	2	4	1	0
17 項		重要文化財	0	0	0	0	0

## 4 防火対象物関係申請・届出状況

(令和7年度)

届出種別	計	所属別			
		本部	中央消防署	北消防署	南消防署
計	7,647	2,474	3,500	551	1,122
防火管理者選任（解任）届出	750	249	354	44	103
消防計画作成（変更）届出	722	234	311	52	125
統括防火管理者選任（解任）届出	12	3	8	0	1
全体についての消防計画作成（変更）届出	14	8	5	0	1
防災管理者選任（解任）届出	196	188	5	1	2
消防計画（変更）届出（防災管理）	188	151	36	0	1
統括防災管理者選任（解任）届出	6	3	3	0	0
全体についての消防計画作成（変更）届出（防災管理）	5	4	1	0	0
自衛消防組織設置（変更）届出	17	7	4	1	5
消防用設備等着工届出	301	160	81	27	33
消防用設備等設置届出	1,311	610	421	111	169
消防用設備等基準の特例適用申請	53	41	4	3	5
消防用設備等点検結果報告	3,451	213	2,264	300	674
防火対象物点検結果報告	380	365	2	10	3
防災管理点検結果報告	241	238	1	2	0

## 5 火災予防条例関係申請・届出状況

(令和7年度)

出種別	計	所属別			
		本部	中央消防署	北消防署	南消防署
計	1,836	168	1,120	271	277
禁止行為の解除承認申請	44	24	18	0	2
火災と紛らわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為届出	448	3	254	125	66
煙火打上げ・仕掛け届出	73	7	20	19	27
催物開催届出	6	0	5	0	1
道路工事届出	265	0	238	15	12
燃料電池・発電・変電・蓄電池設置届出	137	21	65	24	27
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出	71	0	35	11	25
火気使用設備設置届出	47	4	18	8	17
露店等の開設届出	228	1	181	30	16
防火対象物使用開始届出	510	108	279	39	84
その他	7	0	7	0	0

## 6 指定催しの指定

(令和7年度)

催しの名称	開催期間	指定要件
まつりつくば2025	8月23日、24日	1日当たりの人出予想10万人を超える規模及び露店等の数が100を超えるもの

## 7 防火対象物の現況

(2026年4月1日現在) 延べ面積 150㎡以上

防火対象物の用途区分		防火対象物数		総数	5階以上	5階未満	地階のみ
計				10,763	679	10,084	0
1項	イ	劇場等		1	0	1	0
	ロ	公会堂等		75	0	75	0
2項	イ	キャバレー等		0	0	0	0
	ロ	遊技場等		26	0	26	0
	ハ	性風俗特殊営業店舗等		0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等		5	0	5	0
3項	イ	料理店等		0	0	0	0
	ロ	飲食店		305	0	305	0
4項		百貨店等		466	0	466	0
5項	イ	旅館等		67	19	48	0
	ロ	共同住宅等		3,820	382	3,438	0
6項	イ	病院等		185	10	175	0
	ロ	特別養護老人ホーム等		87	6	81	0
	ハ	老人デイサービスセンター等		252	3	249	0
	ニ	幼稚園等		50	2	48	0
7項		学校		438	46	392	0
8項		図書館等		20	2	18	0
9項	イ	特殊浴場		1	0	1	0
	ロ	一般浴場		6	0	6	0
10項		停車場		8	0	8	0
11項		神社・寺院等		62	0	62	0
12項	イ	工場等		578	3	575	0
	ロ	スタジオ		0	0	0	0
13項	イ	駐車場等		114	7	107	0
	ロ	航空機等格納庫		6	0	6	0
14項		倉庫		612	4	608	0
15項		事務所等		2,616	102	2,514	0
16項	イ	特定複合用途防火対象物		668	64	604	0
	ロ	非特定複合用途防火対象物		292	29	263	0
17項		重要文化財		3	0	3	0

## 8 避難訓練等実施状況

(令和7年度)

訓練種別 用途	計	避難 訓練	防火 講話	防災 映画	消火器 訓練	消火栓 訓練	消防車 出向
計	3,053	1,430	279	48	838	8	450
劇場・集会所	49	25	6	1	12	0	5
遊技場・ダンスホール	14	10	1	0	2	0	1
カラオケボックス	11	5	1	0	5	0	0
料理店・飲食店	143	111	4	0	22	0	6
百貨店・マーケット	306	211	1	1	91	0	2
旅館・ホテル	48	29	2	1	10	0	6
病院・診療所	115	55	12	1	41	0	6
老人短期入所施設・養護 老人ホーム	297	136	33	2	82	0	44
保育所・老人福祉施設等	711	273	85	24	188	0	141
幼稚園・特別支援学校	133	46	15	7	22	0	43
学校	147	54	20	3	35	1	34
工場・作業所	113	48	7	0	40	4	14
その他の事業所	523	215	45	6	157	2	98
複合用途	298	150	40	1	79	0	28
自治会（共同住宅）	145	62	7	1	52	1	22

## 9 広報活動状況

(令和7年度)

所 属 種 別	計	本 部	中 央 消 防 署	豊 里 分 署	桜 分 署	並 木 分 署	北 消 防 署	筑 波 分 署	南 消 防 署	荃 崎 分 署
計	1,248	80	370	79	80	102	150	62	191	134
消防訓練指導	545	35	125	30	49	62	62	6	94	82
防火講話	291	35	91	15	3	9	51	0	63	24
消防施設の見学	91	0	77	1	1	3	4	0	3	2
映画会	54	0	46	4	0	0	4	0	0	0
火災予防運動期間中の広報	108	2	14	13	12	14	14	12	14	13
山林火災予防の広報	154	3	17	16	15	14	15	44	17	13
その他の広報	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0

## 10 防火対象物表示制度状況

(令和7年度)

防火対象物の用途	表示マーク（銀） 交付対象物数	表示マーク（金） 交付対象物数
旅館・ホテル・宿泊所	0	2
複合用途防火対象物の内旅館・ホテル・宿泊所の用途を含むもの	0	1

## 11 防火・防災管理講習会の開催状況

(令和7年度)

講習種別	回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	2	105
甲種防火管理再講習	1	90
乙種防火管理講習	0	0
防災管理新規講習	1	40
防災管理再講習	0	0
防火防災管理併催再講習	1	60
計	5	295

## 12 管内危険物施設数

(令和7年度)

製造所等の区分	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
	623	5	154	63	10	145	0	29	6	115	1	0	95

## 13 危険物製造所等許可件数

(令和7年度)

製造所等の区分	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
	43 (32)	3 (2)	8 (4)	4 (3)	1 (1)	5 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	11 (9)

※ ( ) 内数字は変更許可の件数を再掲したもの。

## 14 危険物製造所等完成検査実施件数

(令和7年度)

製造所等の区分	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
	36 (27)	2 (2)	5 (2)	3 (2)	1 (1)	4 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (9)	0 (0)	0 (0)	10 (8)

※ ( ) 内数字は変更許可の件数を再掲したもの。

## 15 危険物規制事務手数料

(令和7年度)

種 別	件 数	金 額
設 置 ・ 変 更 許 可 申 請 手 数 料	43	1,059 千円
完 成 検 査 申 請 手 数 料	35	421 千円
完 成 検 査 前 検 査 申 請 手 数 料 (少量危険物等タンク検査申請含む)	0	0 千円
仮使用・仮貯蔵・仮取扱承認申請手数料	38	210 千円
計	116	1,690 千円

## 16 予防技術資格者の認定状況

(2026年4月1日現在)

種 別	合 計
防 火 査 察 専 門 員	73
消 防 設 備 等 専 門 員	21
危 険 物 専 門 員	23

※1人で複数の資格を有する場合は、重複して計上しています。

## 17 火薬類取締法における許可件数・事務手数料

(令和7年度)

種 別	件 数	金 額
譲 渡 許 可	1	1,200 円
譲 受 許 可	3	16,200 円
消 費 許 可	煙 火	55,300 円
	煙 火 以 外	0 円
計	13	72,700 円

### 第3節 警防編



# 1 消防用自動車等

(2026年4月1日現在)

種別 所属	計	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	非常用消防自動車	大型水槽車	消防ポンプ自動車	はしご車・40m級	はしご車・15m級	特殊災害対応自動車	救助工作車	高規格救急車	支援車	非常用救急自動車	小型動力ポンプ積載車	指揮車・指令車	連絡車	資材搬送車	重機	重機搬送車	地水利調査用バイク	消防バス	救急普及啓発広報車	ボート搬送トレーラー
		計	70	7	1	2	1	1	1	1	1	3	9	1	2	1	9	18	1	1	1	6	1
消防本部	14										1	1			1	9					1	1	
中央消防署	19	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1		2		1	2	1	1	1	2			
豊里分署	4	1									1				1	1							
桜分署	4	1									1				1	1							
並木分署	5	1		1							1				1	1							
北消防署	7	1								1	1				1	1				2			
筑波分署	5	1									1			1	1	1							
南消防署	8	1								1	1				1	1				2			1
荃崎分署	4	1									1				1	1							

令和7年度更新



北消防署 指揮車



南消防署 指揮車

## 2 消防水利

(2026年4月1日現在)

種 別 \ 署 別	総数	中央 消防署	豊里 分署	桜 分署	並木 分署	北 消防署	筑波 分署	南 消防署	荃崎 分署
総数	4,914	1,001	390	595	540	713	269	854	552
消火栓	2,671	627	160	381	326	343	108	446	280
公設消火栓	2,569	582	158	350	308	343	108	442	278
私設消火栓	102	45	2	31	18	0	0	4	2
公設防火水槽 (m <sup>3</sup> )	1,418	220	172	156	100	231	78	240	221
20 以上～40 未満	234	34	30	22	17	49	6	37	39
40 以上～60 未満	840	127	81	116	74	93	41	138	170
60 以上～100 未満	317	58	61	18	6	77	30	60	7
100 以上	27	1	0	0	3	12	1	5	5
私設防火水槽 (m <sup>3</sup> )	608	123	50	28	97	89	49	127	45
20 以上～40 未満	11	0	2	0	4	4	1	0	0
40 以上～60 未満	376	87	22	20	67	46	29	79	26
60 以上～100 未満	206	32	25	8	24	37	16	46	18
100 以上	15	4	1	0	2	2	3	2	1
※飲料水兼用防火水槽 (m <sup>3</sup> )	4	1	0	0	1	1	0	0	1
40 以上～100 未満	3	1	0	0	1	1	0	0	0
100 以上	1	0	0	0	0	0	0	0	1
貯留水利	217	31	8	30	17	50	34	41	6
プール	52	10	3	6	14	9	0	7	3
池・濠等	165	21	5	24	3	41	34	34	3

※飲料水兼用防火水槽は公設防火水槽に含む。

### 3 消防器具保有状況

(2026年4月1日現在)

分類	品名	計	所属別保有数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署
放水器具	小型動力ポンプ（背負式ポンプ含む）	7	1		1	1	1		1(1)		1
	高圧動力噴霧装置	7		1	1		2	1		1	1
	ホースカー	14		3	1	1	2	2	2	2	1
	フォグガン	12		3	1	1	1	2	1	2	1
	無反動ノズル	17		6	1	1	2	2	2	2	1
	放水銃	5		2	1	1					1
	高発泡ノズル	3		3							
	低発泡ノズル	13		4	1	1	1	2	1	1	2
	ウォーターチャージャー	9		1	1	1	1	2	1	1	1
	背負式消火水のう	80		20	6	6	6	18	15	5	4
簡易水槽	2	1						1			
救助省令別表第1											
一般救助用器具	かぎ付はしご	18		7	1	1	2	3	1	2	1
	三連はしご	12		4	1	1		2	1	2	1
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	5		3		1(1)		1		1	
	空気式救助マット	3		1				1		1	
	救命索発射銃	2		1				1			
	サバイバースリング又は救助用縛帯	25		8	1	2	1	7	1	4	1
	平担架	5		2				2		1	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3		1				1		1	
	油圧スプレッダー	6		1	1	1	1		1		1
	可搬ウインチ	10		2	1		1	2	1	2	1
	マンホール救助器具	6		2				2		2	
	救助用簡易起重機	2		2							
切断用器具	油圧切断機	14		7	1	1	1	1	1	1	1
	エンジンカッター	12		4	1	1	1	1	1	2	1
	ガス溶断器	4		2				1		1	
	チェーンソー	25		8	3	3	1	1	3	3	3
	鉄線カッター	23		9	2	2	1	4	2	2	1
破壊用器具	万能斧	27		11	1	2	2	3	3	3	2
	ハンマー	24		6	2	1	4	3	2	5	1
	携帯用コンクリート破壊器具	8		2			2	2		2	
検知・測定用器具	生物剤検知器	3		3							
	化学剤検知器	5		5							
	複合型ガス測定器	15		6	1	1	1	2	1	2	1
	有毒ガス測定器	4		2				1		1	
	放射線測定器	28		18				6		4	
	ポケット線量計	75	4	25	4	4	4	15	4	11	4

分類	品名	計	所属別保有数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荏崎分署
呼吸保護用器具	空気呼吸器	125		54	5	5	5	21	8	22	5
	空気補充用ボンベ	300		106	20	20	21	47	21	44	21
隊員保護用器具	耐電手袋	54		19	2	5	1	11	3	11	2
	安全帯	40		7		2	1	2	3	20	5
	防塵メガネ	256	37	48	22	22	15	34	22	34	22
	携帯警報器	41		17	4			8	4	8	
	防毒マスク	83	4	28	6	3	6	11	6	12	7
	レベル A 防護服（陽圧式化学防護服）	15		15							
	レベル B 防護服（化学防護服）	174		89	11	12	16	15	7	17	7
	レベル C 防護服（タイベックスーツ等）	421	3	60	8	4	36	108	4	159	39
	耐熱服	6		6							
	放射線防護服	15		5				6		4	
検査用器具	簡易画像探索機	3		1				1		1	
除染用器具	除染シャワー	3		3							
	除染剤散布器	3		3							
水難救助用器具	流水救助器具一式	37		11	1	5	4	4	2	8	2
	救命胴衣	276		75	21	24	22	46	25	45	18
	救命浮環	39		3	2	3	3	4	3	10	11
	浮標	4		1				1		2	
	救命ボート	5		2				1		2	
	船外機	5		2				1		2	
山岳救助用器具	登山器具一式	6							6		
	バスケット担架	11		3	1			3	1	2	1
その他の救助用器具	投光器一式	23		11	1	1	2	2	2	3	1
	携帯投光器	2		2							
	携帯拡声器	30		12	1	2	2	4	4	4	1
	携帯無線機	42	3	13	3	3	3	5	4	5	3
	衛星携帯電話	2	2								
	応急処置用セット	11		3	1	1	1	2	1	1	1
	車両移動器具	2		2							
	その他の携帯救助工具	16		4	1	1	2	3	1	2	2
救助省令別表第 2											
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	5		2				2		1	
	大型油圧スプレッダー	3		1				1		1	
	救助用支柱器具	2		2							
	チェーンブロック	2		2							
切断用器具	空気鋸	5		2				2		1	
	大型油圧切断機	3		1				1		1	
	空気切断機	3		1				1		1	

分類	品名	計	所属別保有数									
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署	
切断用器具	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1								
破壊用器具	削岩機	4		2					1		1	
	ハンマドリル	5		2					2		1	
呼吸保護用器具	酸素呼吸器	7		3					2		2	
	簡易呼吸器	3		2					1			
	防塵マスク	285	37	62	22	22	22	36	22	40	22	
	送排風機	4		2					1		1	
隊員保護用器具	耐電衣	22		7	2	2			3	2	6	
	耐電ズボン	16		7					3		6	
	耐電長靴	16		7					3		6	
その他の救助用器具	緩降機	6		3					1		2	
	ロープ登降機	2		1						1		
	救助用降下機	1		1								
	発動発電機 500 以上 1000 未満	13	2	3				3	2	1	2	
	〃 1000 以上 1500 未満	0										
	〃 1500 以上 2000 未満	12	1	4	1	1			1	1	2	1
	〃 2000 以上 2500 未満	3	1	2								
	〃 2500 以上 3000 未満	3		1					1		1	
	〃 3000 以上 3500 未満	2		1							1	
	〃 3500 以上 4000 未満	0										
	〃 4000 以上 4500 未満	0										
	〃 4500 以上 5000 未満	1									1	
〃 5000 以上	2	2										
救助省令別表第 3												
高度救助用器具	画像探索機	2		2								
	地中音響探知機	1		1								
	熱画像直視装置	10	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
	夜間用暗視装置	1		1								
	地震警報器	1		1								
	電磁場探査装置	1		1								
	二酸化炭素探査装置	1		1								
	水中探査装置（水中ドローン）	1	1									

分類	品名	計	所属別保有数								
			本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署
救急用器具	人工呼吸器	11	2	3	1	1	1		1	1	1
	加湿流量計付酸素吸入装置	12	2	3	1	1	1	1	1	1	1
	電動式吸引器	18	2	3	1	2	2	2	2	2	2
	自動式心臓マッサージ装置	11	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	保育器	6		1		1	1	1		1	1
	除細動器	11	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	患者用観察用モニター	12	2	3	1	1	1	1	1	1	1
	自動式人工呼吸器	12	2	3	1	1	1	1	1	1	1
	レサシアン(リトルアン含む) (成人用)	58		11	4	8	8	9	5	8	5
	〃 (小児用)	31		8	1	4	5	6		7	
	〃 (乳幼児用)	33		8	2	4	5	10		4	
	AEDトレーナー	39		9	3	4	5	5	2	9	2
	気道管理訓練用カットモデル	6			1	1		1	1	1	1
	気道管理トレーナー (成人)	2						1		1	
	〃 (乳幼児用)	3		1				1		1	
	外傷モデルキット	0									
	オゾン殺菌装置	14	4	4	1		1	1	1	1	1
エアーテント	4	4									

## 4 消防機関の出動状況

(2025年1月～12月)

区分	種別	計	火災	林野火災	風水害等の災害	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	火災の誤報	
														いたずら等	
計	回数	1,837	121	3	6	77	279	348	69	40	0	335	562	18	
	人員	8,934	1,999	44	46	367	1,026	1,149	329	126	0	1,057	2,835	307	
	車両台数	3,091	751	16	17	134	334	385	102	40	0	397	931	92	
中央消防署	回数	539	28	0	1	17	93	76	20	2	0	142	160	11	
	人員	2,373	386	0	3	52	285	250	96	12	0	386	903	225	
	車両台数	796	130	0	1	22	100	91	29	2	0	145	276	72	
豊里分署	回数	154	19	1	0	1	18	23	13	1	0	22	57	0	
	人員	999	354	15	0	7	101	88	52	3	0	85	309	0	
	車両台数	395	166	5	0	2	31	27	14	1	0	28	126	0	
桜分署	回数	167	10	1	2	6	14	34	6	0	0	39	56	1	
	人員	878	188	14	21	19	68	156	25	0	0	116	285	3	
	車両台数	311	63	5	8	8	21	48	11	0	0	61	91	1	
並木分署	回数	129	12	0	2	0	28	14	10	0	0	14	49	2	
	人員	596	166	0	6	0	94	39	46	0	0	58	187	67	
	車両台数	199	49	0	2	0	29	15	16	0	0	19	69	15	
北消防署	回数	254	19	0	0	10	43	64	8	8	0	15	87	1	
	人員	1,365	377	0	0	57	153	214	51	24	0	43	446	3	
	車両台数	473	164	0	0	19	48	63	16	8	0	15	140	1	
筑波分署	回数	130	8	0	0	16	7	34	4	19	0	16	26	3	
	人員	557	158	0	0	72	30	59	23	56	0	59	100	9	
	車両台数	192	49	0	0	22	10	34	5	19	0	21	32	3	
南消防署	回数	326	16	0	1	6	65	76	6	2	0	72	82	0	
	人員	1,456	232	0	16	25	247	256	30	6	0	249	395	0	
	車両台数	487	83	0	6	10	80	80	9	2	0	89	128	0	
荃崎分署	回数	138	9	1	0	21	11	27	2	8	0	15	45	0	
	人員	710	138	15	0	135	48	87	6	25	0	61	210	0	
	車両台数	238	47	6	0	51	15	27	2	8	0	19	69	0	

## 第 4 節 消防指令編



# 1 高機能消防指令センター

令和7年11月7日から運用を開始したこのシステムは、コンピューター技術と通信技術を駆使し、災害内容や規模に応じた消防自動車等の配備など、一連の処理を自動化し迅速かつ確実な指令管理能力を備え、火災・救助・救急等の災害対応を図るものです。

## 通報受付 119番通報は、消防指令センターに入電します。

### ○指令台/指揮台

119番通報から火災、救助、救急等を受付し、各消防署に出動指令、消防自動車等への無線交信をするとともに、関係機関への連絡を行うもの。

### ○緊急通報システムNET119

聴覚や発話に障がいのある方が、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して、簡単な画面操作で通報するもの。(登録制)

### ○緊急通報システムLIVE119

音声での119番通報だけでは伝えきれない災害の状況や傷病者の状態をスマートフォン等で撮影し、その映像を消防指令センターへ送信することができるもの。

### ○FAX119受信装置

聴覚や発話に障がいのある方が、FAXを利用して通報するもの。(登録制)

### ○多言語コールサービス

日本語を話せない外国人から119番通報を着信した際、コールセンターの通訳を介して受付するもの。

## 災害地点特定

### ○統合型位置情報通知装置

固定電話・携帯電話・IP電話からの119番通報受付時に通報場所情報を受信し、指令台モニターに地図情報等を表示するもの。

## 災害種別 通報情報を基に、火災・救助・救急等の災害種別を決定します。

## 出動指令 的確な出動指令を行います。

### ○自動出動指定装置

災害種別、発生場所から出動させる消防自動車等を自動指定して、各消防署へ出動指令をかけるもの。

### ○順次指令装置

火災の出動指令後に、災害情報を消防団員へEメールで一斉配信し、関係機関には自動音声で電話をかけるもの。

### ○指令情報送信装置

各消防署に指令情報を送信するもの。

## 出 動

### ○指令情報出力装置・署所端末装置

各消防署にて指令情報を受信し、地図付きの指令書をプリントするもの。

### ○総合情報表示盤

消防自動車等の運用状況を表示するもの。

### ○災害対策用画像伝送装置

災害現場の状況を、対策本部のモニターに映像表示させるもの。

※テレホンサービス 火災・災害等の情報提供をするもの。

☎029-855-2119

## 災害支援情報

### ○車両運用端末装置（AVM）

消防自動車等に、地図付きの災害情報を表示させるもの。

### ○車載型・携帯型無線装置

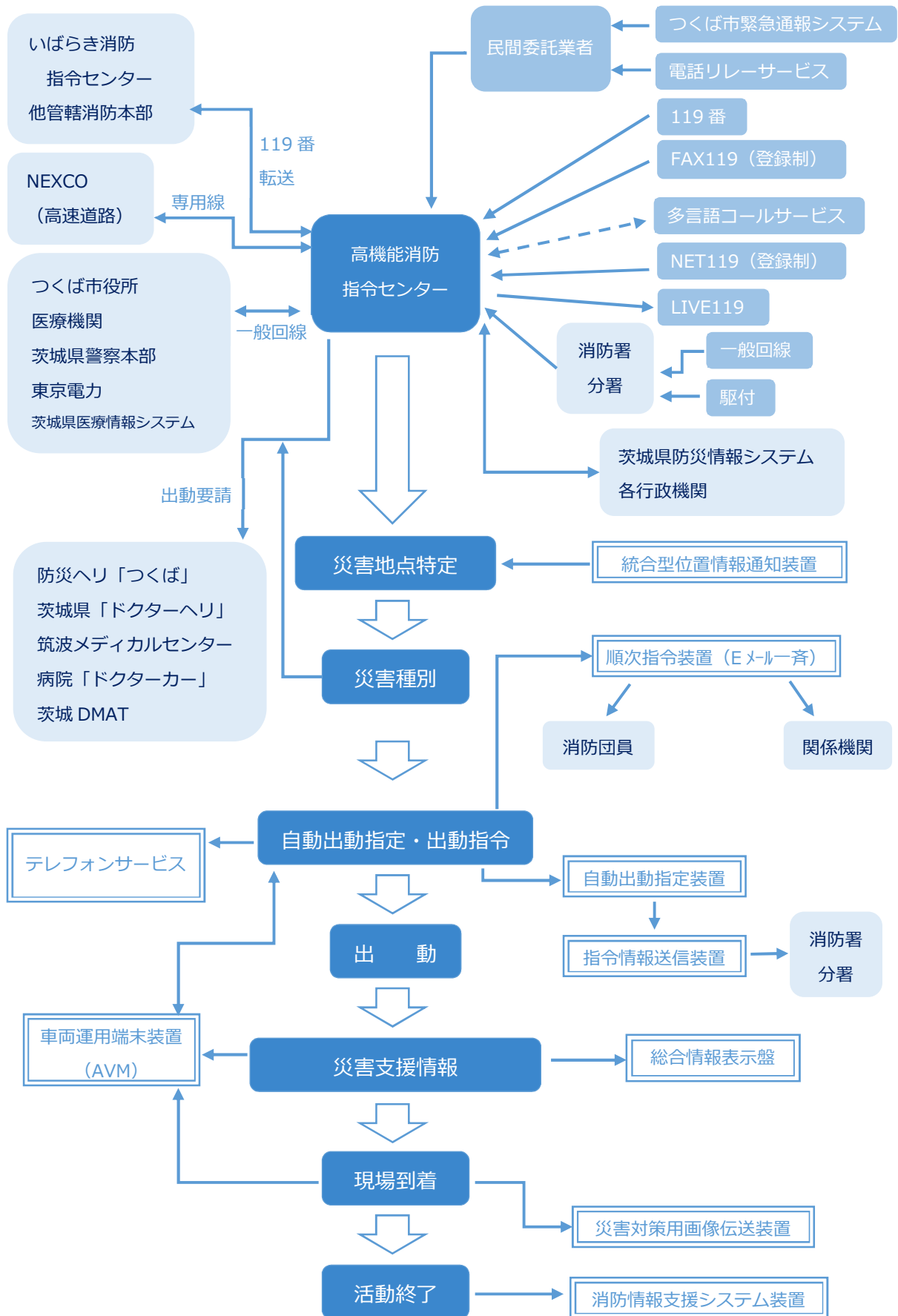
消防指令センターと災害現場間で無線交信を行うもの。

## 活動終了

### ○消防情報支援システム装置

全ての活動終了後、災害状況や活動内容はデータとして蓄積され、各種統計や、類似災害の消防活動に活かされます。

## 2 高機能消防指令システム系統



### 3 消防無線配置状況

(2026年4月1日現在)

運用波	主運用波	統制波 1 統制波 2 統制波 3		活動波 1 活動波 2 活動波 3			
署所名	種別	車 載	携 帯		卓上型固定	署活系 (携帯)	計
			5W	2W			
本 部		4		4	1	13	22
中 央 消 防 署		13	1	12	1	20	47
豊 里 分 署		3		3	1	7	14
桜 分 署		3		3	1	7	14
並 木 分 署		4		3	1	7	15
北 消 防 署		4	1	5	1	11	22
筑 波 分 署		4		4	1	7	16
南 消 防 署		4	1	5	1	11	22
荃 崎 分 署		3		3	1	7	14
計		42	3	42	9	90	186

### 4 通報件数

(2025年1月～12月)

要請種別	着信件数	119番通報		119番以外の通報	NET 119	LIVE 119	FAX 119	多言語
		固定・IP 電話	携帯電話					
火 災	149	17	113	19		17		
救 急	11,291	3,640	7,205	446	3	18		27
救 助	188	15	128	45		29		1
災 害	559	60	305	194		6		
同 報	644	72	558	14				
病 院 案 内	227	31	193	3				
誤報・間違い	1,210	122	1,086	2				5
問 合 せ	822	186	618	18		2		2
訓練・試験等	2,023	1,411	576	36				
計	17,113	5,554	10,782	777	3	72		35

※同報は火災・救急・救助・災害の同一通報です。

※通報件数のため、実際の出動件数とは異なります。

## 5 気象情報発表件数

(2025年1月～12月)

特別 警報	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
暴風													0
大雨													0
その他													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
暴風													0
大雨				1		1	1						3
洪水						2	1		1				4
その他													0
計	0	0	0	1	0	3	2	0	1	0	0	0	7
注意報	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
強風	7	11	5	2	1		1	2	4	2	3	4	42
大雨				1	1	2	3		4		1		12
洪水					1	3	2		1		1		8
大雪			3										3
低温	4	10											14
乾燥	8	4	3	2								1	18
濃霧	6		9	11	11	15	10	17	11	6	7	7	110
霜			1	2							18		21
雷	7	4	4	9	10	12	18	19	13	3	5	4	108
その他													0
計	32	29	25	27	24	32	34	38	33	11	35	16	336
注意 情報等	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
竜巻			2				3	3	6		1		15
その他													0
計	0	0	2	0	0	0	3	3	6	0	1	0	15

※継続発表も1件として集計しています。

## 6 気象状況

(2025年1月～12月 つくば市消防本部観測 標高：25m)

	平均 風速 (m/s)	平均 風向 (m/s)	瞬間最 大風速 (m/s)	平均 気温 (°C)	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)	時間最 大雨量 ( mm)	月最大 雨量 ( mm)	月積算 雨量 ( mm)
1月	2.2	北西	18.9	5.0	14.0	-4.2	5.5	15.0	19.5
2月	3.1	北西	26.7	4.8	16.8	-3.9	1.5	6.0	6.0
3月	2.5	北北西	22.1	9.5	24.4	-1.0	5.0	23.5	105.0
4月	2.8	南	19.8	14.6	29.1	2.3	12.0	25.5	91.5
5月	2.5	東北東	17.9	18.2	30.1	9.7	13.0	44.0	158.5
6月	2.4	南	20.2	24.4	34.9	14.4	36.5	55.0	175.5
7月	2.8	南	17.1	28.1	37.1	20.5	48.0	48.0	114.0
8月	2.4	東南東	19.5	28.9	37.8	22.5	6.0	7.0	28.0
9月	2.2	東北東	24.9	25.7	36.0	15.1	13.5	50.0	72.5
10月	2.3	南南西	14.8	18.0	29.3	7.2	24.0	50.0	92.5
11月	1.9	北北西	16.7	11.6	22.5	0.9	10.0	8.5	11.5
12月	2.2	北西	20.1	6.7	20.8	-3.2	4.5	14.5	41.0

## 7 気象観測最大最小値

(2025年1月～12月 つくば市消防本部観測 標高：25m)

観測項目	観測月日	観測値
瞬間最大風速	令和7年2月13日 10時31分	26.7 (北北西) m/s
最高気温	令和7年8月5日 12時19分	37.8 °C
最低気温	令和7年1月5日 6時53分	-4.2 °C
時間最大雨量	令和7年7月1日 17時10分	48.0 mm
日積算最大雨量	令和7年6月25日	55.0 mm
月積算最大雨量	令和7年6月	175.5 mm

## 第5節 火災編



# 1 火災概況

△：減

区分		2025年 (令和7年)	2024年 (令和6年)	比較
出火件数	合計	126	103	23
	建物	56	44	12
	林野	3	4	△1
	車両	18	17	1
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	49	38	11
焼損棟数 (棟)	合計	71	54	17
	全焼	20	14	6
	半焼	1	4	△3
	部分焼	13	15	△2
	ぼや	37	21	16
損害額 (千円)	合計	137,346	94,032	43,314
	建物	114,097	88,533	25,564
	林野	46	110	△64
	車両	18,650	4,430	14,220
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	4,553	959	3,594
焼損面積	建物(m <sup>2</sup> )	1,698	1,071	627
	林野(a)	16	933	△917
死傷者数	死者	3	3	0
	負傷者	12	10	2
出火率(件/万人)		4.8	4.0	0.8

※出火率とは人口1万人あたりの出火件数をいう。

## 1日当たりの火災概況

区分	出火件数	損害額(千円)	焼損面積	
令和7年	0.34件	376.29	建物(m <sup>2</sup> )	4.65
			林野(a)	0.04

※ 1 a = 100 m<sup>2</sup>

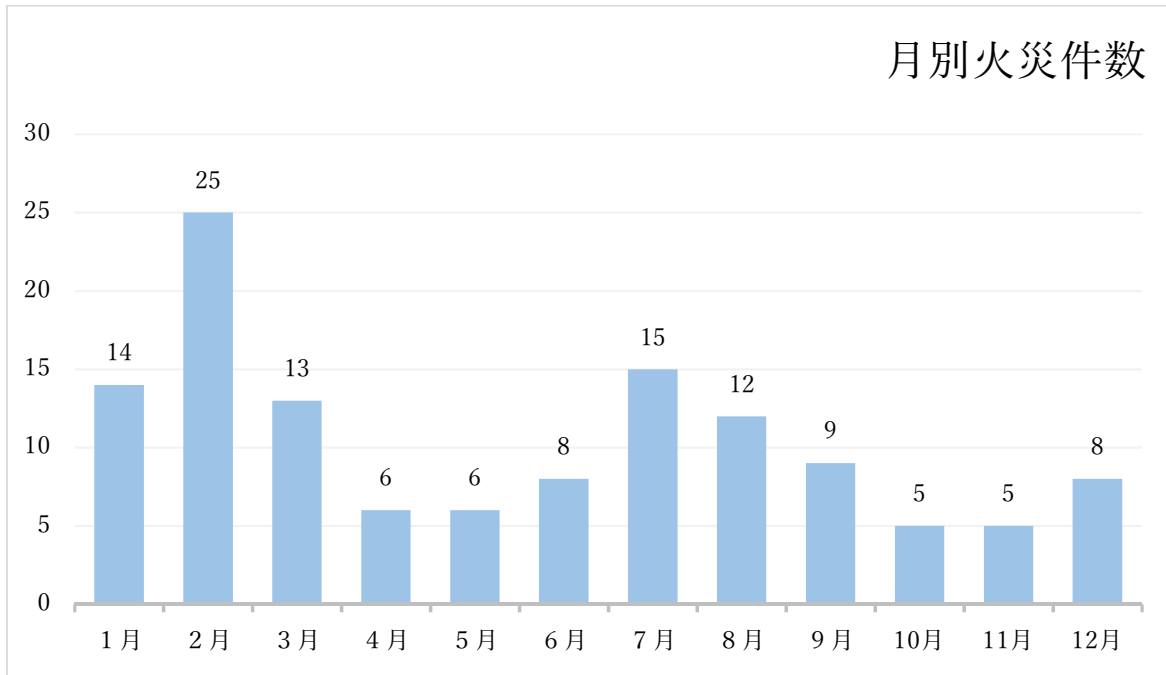
## 2 地区別火災件数及び損害額

(2025年1月～12月)

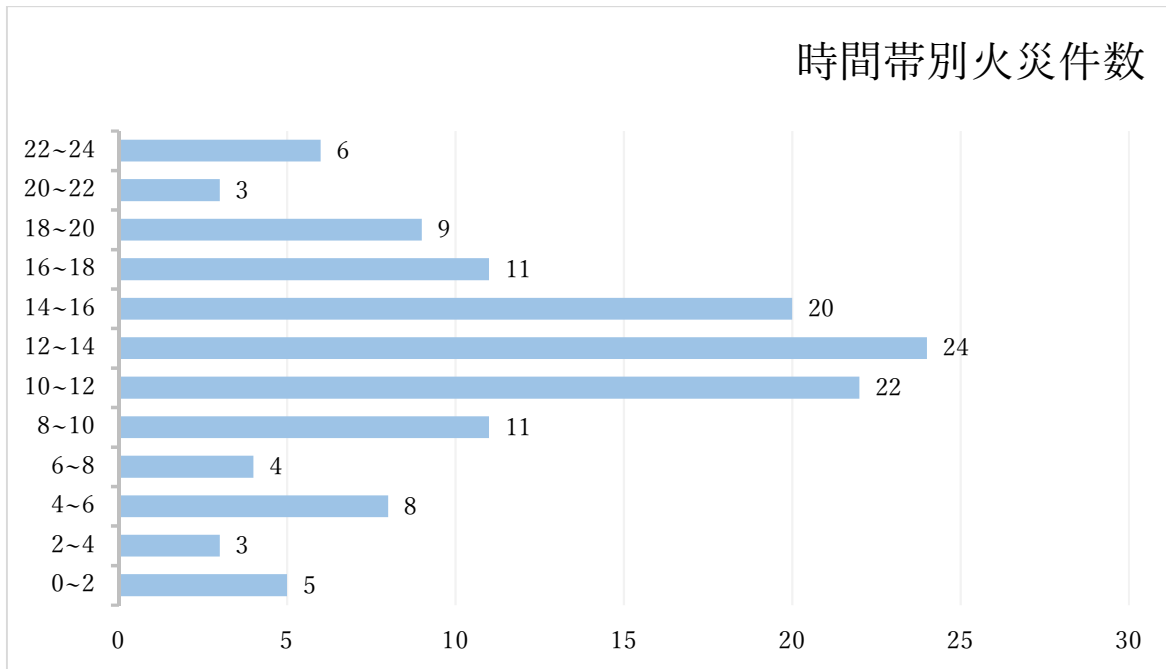
地区名	火災件数合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
	損害額合計 (千円)						
筑波	20	10	0	3	0	0	7
	10,177	9,538	0	639	0	0	0
大穂	15	4	0	2	0	0	9
	35,254	30,309	0	4,193	0	0	752
豊里	17	7	1	0	0	0	9
	21,706	21,652	46	0	0	0	8
谷田部	40	17	0	7	0	0	16
	32,817	28,147	0	2,796	0	0	1,874
桜	24	12	1	4	0	0	7
	13,375	10,229	0	3,070	0	0	76
荃崎	10	6	1	2	0	0	1
	24,017	22,286	0	1,700	0	0	31
合計	126	56	3	18	0	0	49
	137,346	122,161	46	12,398	0	0	2,741

### 3 月別・時間帯別火災件数

(2025年1月~12月)



(2025年1月~12月)

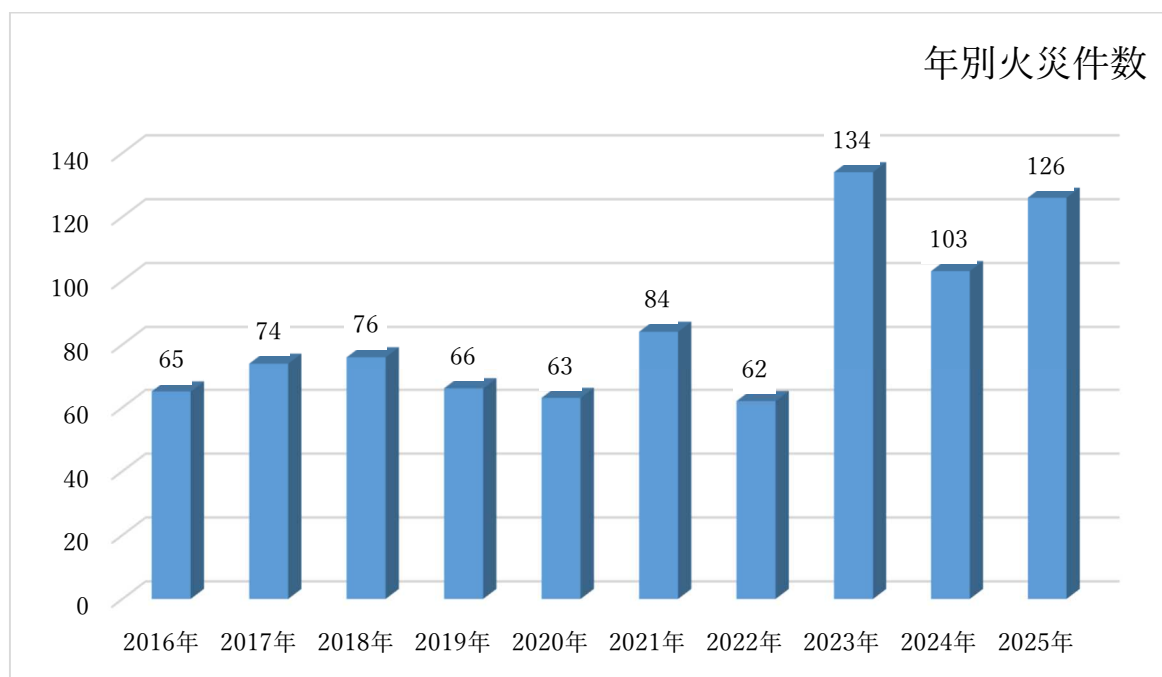


## 4 曜日別火災件数

(2025年1月～12月)

曜日	計	月	火	水	木	金	土	日
全火災	126	13	18	18	25	12	19	21
建物火災	56	6	8	6	10	6	9	11

## 5 過去10年間の火災件数推移



## 6 主な出火原因

(2025年1月～12月)

順位	原因	件数	火災総数に占める比率
1	放火・放火の疑い	23件	18.25%
2	電気機器	15件	11.90%
	火入れ	15件	11.90%
3	マッチ・ライター	6件	4.76%
4	たき火	5件	3.97%
	こんろ	5件	3.97%
5	配線器具	4件	3.18%
—	その他	51件	40.48%
—	不明	2件	1.59%
合計		126件	100%

## 7 過去3年間の主な出火原因

順位 年・件数	1位	2位	3位	4位	5位
	2025年 総件数 126件	放火・放火の 疑い 23件	電気機器 火入れ 各15件	マッチ・ ライター 6件	たき火 こんろ 各5件
2024年 総件数 103件	放火の疑い 13件	たばこ 10件	マッチ・ ライター 7件	たき火 火入れ 各6件	電気機器 こんろ 各5件
2023年 総件数 134件	放火 放火の疑い 39件	たばこ 8件	こんろ 電気配線 各7件	たき火 電気機器 各6件	火入れ 5件

## 8 出火原因による主な発火源・経過・着火物

(2025年1月～12月)

出火原因	発火源	経過	着火物
放火・放火の疑い (23件)	不明	放火・放火の疑い	枯草
電気機器 (15件)	リチウム電池	電線が短絡する	合成樹脂と成形品
火入れ (15件)	枯れ草焼き	火源が動いて接触する	枯草
マッチ・ライター (6件)	マッチ	放置する、忘れる、火源が動いて接触する	枯草
たき火 (5件)	たき火	火の粉が散る遠くへ飛び火する、火源が動いて接触する	枯草
こんろ (5件)	ガステーブル	加熱する	動植物油類
配線器具 (4件)	接続器	電線が短絡する	電線被類

## 9 火災統計

(2025年1月～12月)

No.	出火日	出火時分	鎮火時分	覚知別	火災種別	死者	負傷者	全焼	半焼	部分	ぼや	焼損物件等
1	1月1日	13時15分	14時44分	加入	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の枯草 77.73 a
2	1月1日	15時20分	16時34分	119	その他	0	0	0	0	0	0	荒地の枯草 30.21 a
3	1月6日	10時24分	12時38分	119	建物	0	1	0	0	0	1	①鉄骨造一部 RC造3階建て ごみ処理施設 ②男性1名が 負傷
4	1月9日	12時03分	12時20分	その他	車両	0	0	0	0	0	0	塵芥車1台 (荷台ごみ)
5	1月9日	21時40分	22時31分	119	その他	0	0	0	0	0	0	公園の落葉 2 m <sup>2</sup>
6	1月11日	22時00分	22時10分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	RC造平屋建 て屋外トイレ
7	1月16日	9時10分	11時15分	119	建物	0	0	2	0	2	0	①木造2階建 て一般住宅 ②木造平屋建 て倉庫 ③木造2階建 て車庫兼倉庫 ④木造平屋建 て一般住宅
8	1月17日	15時30分	20時25分	119	建物	0	0	3	0	0	1	①木造2階建 て一般住宅 ②木造2階建 て倉庫 ③木造2階建 て空き家 ④木造平屋プ レハブ小屋
9	1月18日	10時30分	13時45分	119	その他	0	0	0	0	0	0	畑の枯草 83.15 a
10	1月20日	17時30分	18時03分	119	その他	0	0	0	0	0	0	道路脇の立木 1本

11	1月24日	14時20分	15時09分	119	建物	0	1	1	0	0	0	①木造平屋建て納屋 ②女性1名負傷
12	1月27日	12時50分	13時36分	119	その他	0	0	0	0	0	0	雑草地の下草 5.92 a
13	1月29日	11時06分	11時24分	119	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 1台
14	1月29日	15時00分	15時43分	加入	その他	0	0	0	0	0	0	田畑の枯草 20.88 a
15	2月1日	18時00分	19時40分	加入	その他	0	0	0	0	0	0	空地の枯草 0.01 a
16	2月2日	19時30分	19時35分	事後 聞知	建物	0	1	0	0	0	1	①軽量鉄骨造 2階建て一般 住宅 ②女性1名負傷
17	2月8日	7時40分	7時45分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造7階建て 共同住宅
18	2月8日	19時00分	19時05分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て 長屋住宅
19	2月9日	9時05分	11時16分	119	その他	0	0	0	0	0	0	空地の枯草 23.58 a
20	2月9日	11時10分	13時56分	119	その他	0	0	0	0	0	0	河川敷の枯草 464.36 a
21	2月12日	14時38分	15時17分	119	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の枯草 140.36 a
22	2月13日	10時20分	12時49分	119	その他	0	0	0	0	0	0	畑の枯草 10.09 a
23	2月15日	13時30分	14時29分	警察 電話	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の枯草 32.22 a
24	2月18日	10時30分	12時12分	119	その他	0	0	0	0	0	0	荒地の枯草 96.90 a
25	2月20日	12時15分	16時12分	119	建物	0	0	1	0	1	0	①木造平屋建て納屋 ②木造平屋建て納屋

26	2月20日	13時50分	14時53分	119	その他	0	0	0	0	0	0	畑の下草 4.57 a
27	2月21日	14時03分	14時05分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建 て複合商業施 設
28	2月22日	14時30分	15時51分	119	その他	0	0	0	0	0	0	造成地の枯草 30.11 a
29	2月23日	13時30分	14時35分	119	その他	0	0	0	0	0	0	荒地の枯草 11.60 a
30	2月24日	9時20分	10時15分	加入	建物	0	1	0	0	0	1	①木造2階建 て一般住宅 ②女性1名負 傷
31	2月24日	10時00分	11時13分	119	その他	0	0	0	0	0	0	雑草地の枯草 5.52 a
32	2月24日	13時00分	14時06分	119	その他	0	0	0	0	0	0	共同住宅敷地 内の落葉 0.60 a
33	2月24日	16時40分	17時19分	119	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 4台
34	2月25日	4時07分	4時47分	119	車両	0	0	0	0	0	0	軽乗用車 1台
35	2月25日	4時56分	5時52分	119	車両	0	0	0	0	0	0	大型トラック 1台
36	2月25日	11時30分	13時35分	加入	その他	0	0	0	0	0	0	田畑の枯草 40.99 a
37	2月25日	11時30分	16時01分	その 他	その他	0	0	0	0	0	0	河川敷の枯草 104.57 a
38	2月25日	13時15分	15時24分	119	建物	0	1	1	0	0	0	①木造平屋建 て物置 ②女性1名負 傷
39	2月27日	14時35分	15時54分	119	林野	0	0	0	0	0	0	人工林の枯草 12.86 a
40	3月2日	16時10分	17時39分	119	林野	0	0	0	0	0	0	雑木林の下草 1.84 a

41	3月2日	16時30分	17時07分	119	その他	0	0	0	0	0	0	畑の枯草 5.37 a
42	3月5日	13時40分	13時45分	事後 聞知	車両	0	1	0	0	0	0	①普通乗用車 1台 ②男性1名負 傷
43	3月6日	8時40分	8時45分	事後 聞知	車両	0	0	0	0	0	0	塵芥車 1台
44	3月9日	12時45分	15時15分	119	建物	0	1	1	0	0	0	①木造一部鉄 骨造平屋建て 一般住宅 ②男性1名負 傷
45	3月13日	6時00分	9時10分	119	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建 て複合商業施 設
46	3月18日	10時40分	14時06分	119	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の芝草 11.87 a
47	3月21日	6時49分	7時14分	119	車両	0	0	0	0	0	0	軽乗用車 1台
48	3月23日	12時29分	12時31分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造平屋建 て複合商業施 設
49	3月23日	12時53分	13時50分	119	建物	0	0	0	0	0	2	①木造平屋建 て倉庫 ②木造平屋建 て一般住宅
50	3月23日	14時43分	15時18分	加入	車両	0	0	0	0	0	0	小型特殊自動 車1台
51	3月24日	19時30分	3月25日 6時35分	119	その他	0	0	0	0	0	0	①敷地内の下 草0.02 a ②杉木1本
52	3月30日	3時10分	5時15分	加入	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造2階建 て一般住宅
53	4月16日	12時00分	14時20分	119	車両	0	2	0	0	0	0	①普通乗用車 6台 ②男性2名負 傷
54	4月20日	12時10分	12時42分	駆け 付け	その他	0	0	0	0	0	0	畑の下草 3.57 a

55	4月22日	11時10分	11時12分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建 て研究所
56	4月28日	1時36分	2時46分	加入	建物	0	0	0	0	0	1	R C造平屋建 て公衆便所
57	4月29日	9時58分	10時21分	加入	建物	1	0	0	0	0	1	①鉄骨造2階 建て作業場 ②男性1名死 亡
58	4月29日	22時18分	22時19分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造3階建 て共同住宅
59	5月4日	16時05分	16時45分	119	その他	0	0	0	0	0	0	①荒地の枯草 1.48 a ②丸太20本
60	5月9日	11時24分	11時43分	119	車両	0	0	0	0	0	0	中型トラック 1台
61	5月18日	11時20分	11時53分	119	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 1台
62	5月25日	22時20分	22時43分	119	建物	0	0	0	0	0	1	軽量鉄骨造2 階建て共同住 宅
63	5月28日	9時10分	9時33分	事後 聞知	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 1台
64	5月29日	19時37分	19時54分	119	車両	0	1	0	0	0	0	①普通乗用車 1台 ②男性1名負 傷
65	6月6日	11時40分	12時50分	119	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の下草 1.44 a
66	6月7日	16時00分	16時27分	119	建物	0	0	0	0	1	0	鉄骨造2階建 て飲食店
67	6月21日	2時20分	7時40分	119	建物	0	0	1	0	2	0	①木造2階建 て一般住宅 ②木造平屋建 て納屋 ③木造平屋建 て一般住宅
68	6月24日	10時35分	10時40分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	木造平屋建て 飲食店

69	6月26日	11時40分	11時45分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建 て共同住宅
70	6月27日	8時30分	8時30分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造18階 建て共同住宅
71	6月30日	4時54分	7時01分	駆け 付け	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造2階建 て工場
72	6月30日	15時50分	16時46分	119	建物	0	0	1	0	0	0	プレハブ造平 屋建て倉庫
73	7月1日	16時35分	18時35分	119	建物	0	1	0	0	1	0	①木造2階建 て一般住宅 ②男性1名負 傷
74	7月2日	1時30分	2時14分	119	建物	0	0	0	0	0	1	R C造14階 建て共同住宅
75	7月3日	3時40分	4時13分	119	その他	0	0	0	0	0	0	河川敷の廃棄 物 0.06 a
76	7月3日	15時50分	17時02分	119	その他	0	0	0	0	0	0	空地の廃棄物 0.68 a
77	7月9日	17時25分	18時43分	119	建物	0	0	0	1	0	0	軽量鉄骨造平 屋建て物置
78	7月10日	12時00分	13時02分	119	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建 て作業所
79	7月10日	17時41分	18時05分	119	その他	0	0	0	0	0	0	空地の枯草 0.18 a
80	7月10日	18時40分	18時45分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て 一般住宅
81	7月13日	15時30分	16時00分	119	その他	0	0	0	0	0	0	敷地内の工事 用シート65 枚
82	7月17日	0時30分	1時13分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て 一般住宅
83	7月17日	9時20分	10時05分	119	建物	0	0	0	0	1	0	R C造14階 建て共同住宅
84	7月19日	14時05分	14時45分	119	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 1台

85	7月25日	4時50分	5時42分	119	その他	0	0	0	0	0	0	河川敷の下草 0.04 a
86	7月26日	14時00分	14時33分	加入	その他	0	0	0	0	0	0	敷地内の落葉 0.22 a
87	7月27日	11時00分	13時57分	119	建物	0	0	0	0	1	0	鉄骨造2階建て工場
88	8月6日	18時30分	18時53分	119	その他	0	0	0	0	0	0	無線基地局の受電盤
89	8月6日	19時40分	21時00分	駆け付け	建物	1	0	1	0	0	0	①プレハブ造平屋建て一般住宅 ②男性1名死亡
90	8月17日	5時52分	5時57分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造6階建て研究所
91	8月20日	13時10分	16時08分	119	林野	0	0	0	0	0	0	竹林の枯草 1.34 a
92	8月20日	20時45分	23時40分	119	建物	0	0	3	0	1	0	①鉄骨造2階建て事務所 ②木造平屋建て物置 ③プレハブ造平屋建て倉庫 ④仮設トイレ
93	8月22日	22時35分	23時40分	119	建物	0	0	0	0	1	0	鉄骨造2階建て共同住宅
94	8月23日	14時20分	14時40分	事後 聞知	その他	0	0	0	0	0	0	ヤード内の廃棄物
95	8月24日	18時15分	18時18分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	R C造3階建て複合商業施設
96	8月26日	11時00分	11時50分	119	車両	0	0	0	0	0	0	乗用草刈り機 1台
97	8月27日	9時00分	10時00分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て一般住宅
98	8月28日	7時50分	8時54分	119	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の芝草 27.50 a

99	8月29日	11時20分	13時56分	119	その他	0	0	0	0	0	0	芝畑の芝草 13.34 a
100	9月3日	14時20分	15時30分	事後 聞知	その他	0	0	0	0	0	0	敷地内の下草 0.45 a
101	9月4日	5時45分	12時55分	119	建物	0	0	2	0	0	0	①木造2階建 て一般住宅 ②木造平屋建 て納屋
102	9月6日	12時20分	12時58分	119	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造3階建 て店舗併用住 宅
103	9月18日	14時45分	16時14分	119	その他	0	0	0	0	0	0	敷地内の廃材 0.28 a
104	9月18日	15時00分	15時39分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て 一般住宅
105	9月20日	16時10分	16時46分	加入	車両	0	0	0	0	0	0	普通乗用車 1台
106	9月27日	12時50分	13時28分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造平屋建て 納屋
107	9月28日	1時56分	3時56分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	1	0	鉄骨造2階建 て共同住宅
108	9月30日	14時50分	16時05分	加入	建物	1	0	2	0	0	0	①パイプ造平 屋建て納屋 ②パイプ造平 屋建て納屋 ③男性1名死 亡
109	10月5日	23時05分	10月6日 2時50分	119	建物	0	1	1	0	0	0	①木造2階建 て共同住宅 ②女性1名負 傷
110	10月7日	13時20分	14時28分	119	車両	0	0	0	0	0	0	大型トラック 1台
111	10月9日	10時55分	11時32分	119	その他	0	0	0	0	0	0	雑草地の枯草 7.01 a
112	10月17日	5時04分	12時55分	119	その他	0	0	0	0	0	0	屋外集積場の 廃棄物 0.94 a

113	10月18日	4時30分	10時01分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造平屋建て納屋
114	11月6日	9時40分	10時55分	119	その他	0	0	0	0	0	0	屋外集積場の廃棄物 2.03 a
115	11月7日	17時30分	18時05分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造2階建て共同住宅
116	11月18日	9時10分	10時20分	119	その他	0	0	0	0	0	0	河川敷の枯草 3.75 a
117	11月19日	21時20分	21時38分	119	建物	0	0	0	0	0	1	木造2階建て長屋住宅
118	11月22日	13時00分	14時55分	119	その他	0	0	0	0	0	0	田畑の枯草 36.00 a
119	12月6日	1時50分	2時17分	119	その他	0	0	0	0	0	0	道路上の落葉 0.03 a
120	12月8日	22時15分	23時25分	119	建物	0	0	0	0	0	1	R C造4階建て飲食店
121	12月11日	13時55分	14時05分	事後 聞知	その他	0	0	0	0	0	0	庭園の芝草 0.20 a
122	12月15日	10時40分	11時36分	119	その他	0	0	0	0	0	0	荒地の枯草 17.00 a
123	12月16日	13時10分	14時09分	119	その他	0	0	0	0	0	0	荒地の枯草 0.31 a
124	12月27日	14時19分	14時30分	事後 聞知	建物	0	0	0	0	0	1	鉄骨造2階建て作業所
125	12月30日	13時22分	13時42分	119	建物	0	0	0	0	1	0	パイプ造平屋建て小屋
126	12月31日	10時20分	10時28分	事後 聞知	その他	0	0	0	0	0	0	公園の落葉 0.01 a
計						3	12	20	1	13	37	

## 第6節 救急編



## 1 救急出動状況

令和7年中の救急出動件数は11,946件で救急搬送人員は11,230人でした。前年と比較すると出動件数は、382件減少し、搬送人員は、383人の減少となっております。

また、1日平均32.7件、約44分に1回の割合で救急出動し、住民の約23人に1人が救急搬送されたことになります。

### 救急出動件数及び搬送人員

(2025年1月～12月)

区 分	令和7年	令和6年	増減数	一日平均
出動件数	11,946件	12,328件	-382件	32.7件
搬送件数	11,124件	11,470件	-346件	30.4件
搬送人員	11,230人	11,613人	-383人	30.7人
不搬送件数	822件	858件	-36件	2.2件

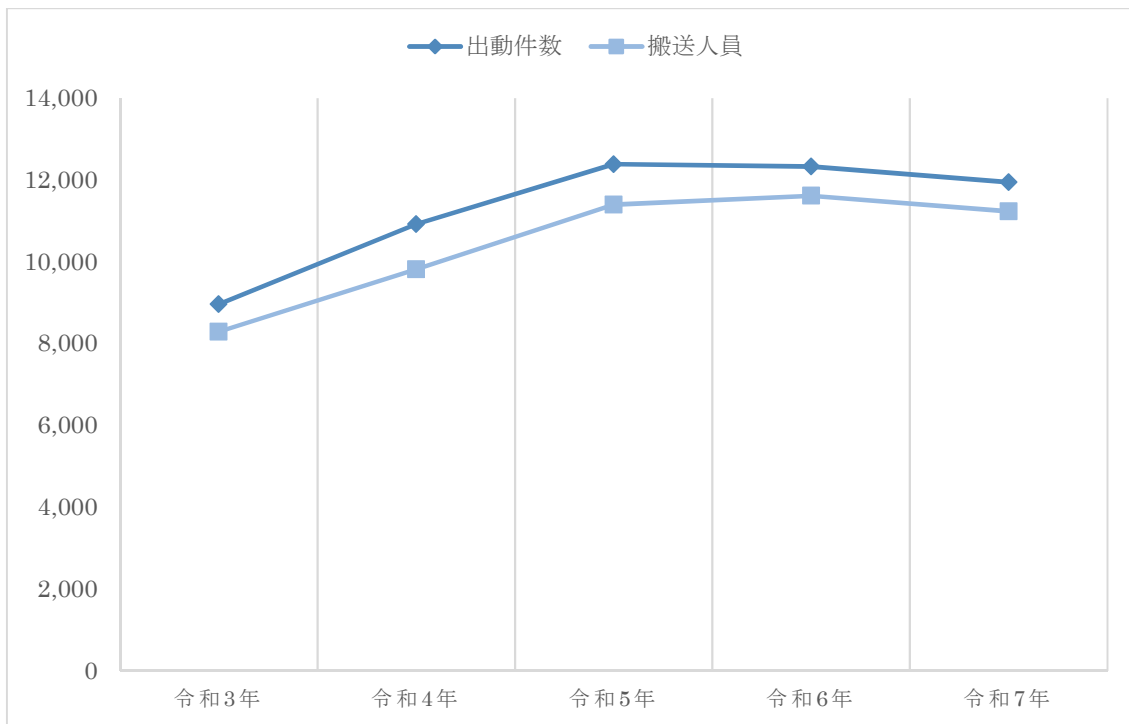
## 2 署所別救急出動件数及び搬送人員

(2025年1月～12月)

署所別	出 動 件 数		搬 送 人 員
	件 数	割合 (%)	
計	11,946件	100.0%	11,230人
中央消防署	2,726件	22.8%	2,557人
豊里分署	993件	8.3%	946人
桜分署	1,538件	12.9%	1,470人
並木分署	1,785件	15.0%	1,668人
北消防署	1,253件	10.5%	1,199人
筑波分署	538件	4.5%	485人
南消防署	1,938件	16.2%	1,800人
荃崎分署	1,175件	9.8%	1,105人

### 3 過去5年間の事故種別と搬送人員の推移

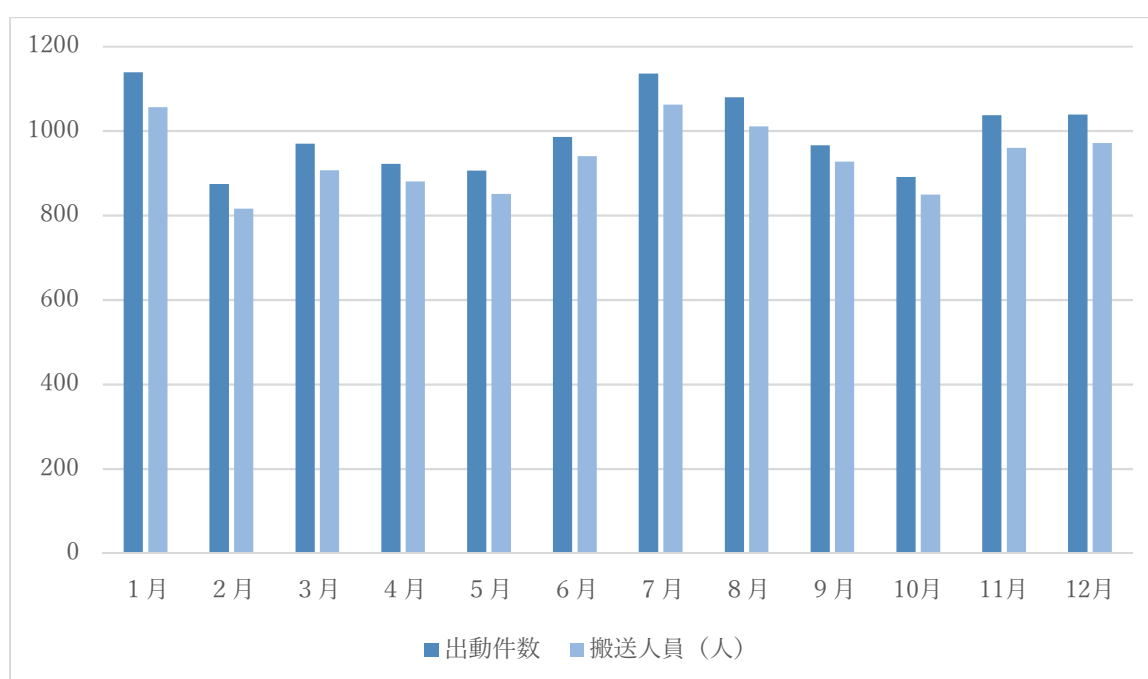
年別	区分 総件数	事故種別													搬送人員	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送		その他
R3	8,964	48	0	4	856	85	57	1,173	30	89	5,623	898	1	0	100	8,290
R4	10,920	34	0	4	906	117	98	1,397	33	107	7,107	904	1	1	211	9,813
R5	12,387	66	2	3	973	142	105	1,488	29	125	8,170	1,051	0	0	233	11,400
R6	12,328	55	0	1	1,052	155	123	1,612	32	115	7,927	1,027	2	0	227	11,613
R7	11,946	53	1	1	1,000	155	114	1,541	35	116	7,658	1,065	0	0	207	11,230



## 4 月別救急出動件数及び搬送人員

(2025年1月～12月)

月別	区分 総件数	事故種別														搬送人員
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
計	11,946	53	1	1	1,000	155	114	1,541	35	116	7,658	1,065	0	0	207	11,230
1	1,139	6	0	0	67	12	5	133	1	13	772	106	0	0	24	1,056
2	874	8	0	0	61	7	9	135	1	6	564	64	0	0	19	816
3	970	6	0	0	73	10	7	114	3	13	648	84	0	0	12	907
4	922	3	0	0	83	10	9	132	3	8	565	94	0	0	15	880
5	906	5	0	0	76	8	7	129	5	10	570	88	0	0	8	851
6	986	4	1	0	89	9	14	128	3	6	644	76	0	0	12	940
7	1,136	7	0	0	106	26	10	136	1	12	703	105	0	0	30	1,062
8	1,080	3	0	1	80	24	8	130	4	11	705	92	0	0	22	1,011
9	966	6	0	0	83	11	17	114	6	7	622	91	0	0	9	927
10	891	3	0	0	101	11	10	132	1	10	528	86	0	0	9	849
11	1,037	1	0	0	86	13	13	122	2	12	677	88	0	0	23	960
12	1,039	1	0	0	95	14	5	136	5	8	660	91	0	0	24	971



## 5 曜日別救急出動件数及び搬送人員

(2025年1月～12月)

曜日 区分	計	日	月	火	水	木	金	土
出動件数	11,946	1,642	1,747	1,759	1,718	1,715	1,676	1,689
搬送人員	11,230	1,509	1,644	1,658	1,645	1,617	1,571	1,586

## 6 時間帯別救急出動件数

(2025年1月～12月)

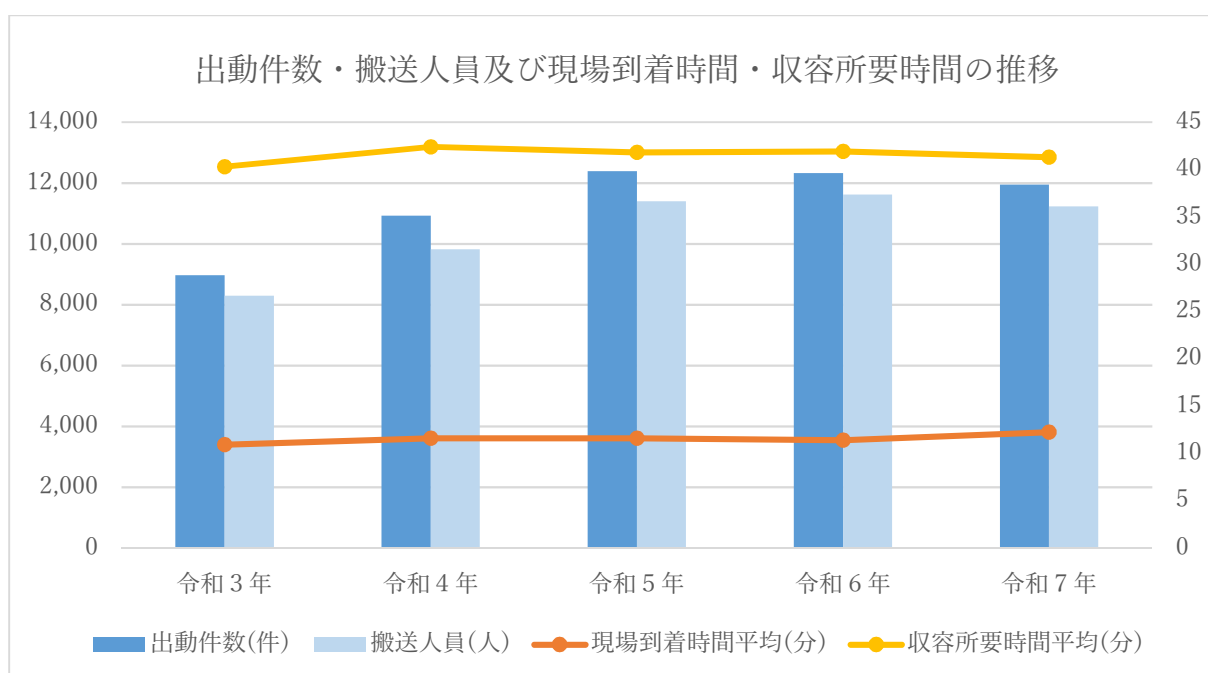
種別 時間	計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自傷 行為	急病	その 他
計	11,946	53	1	1	1,000	155	114	1,541	35	116	7,658	1,272
0～2	575	1			19	5		43	7	7	458	35
2～4	493	1			13	2		39	2	3	409	24
4～6	457	4			16	4		43	3	2	363	22
6～8	773	2			68	8	3	86	2	11	574	19
8～10	1,333	4			167	14	5	220	1	10	769	143
10～12	1,383	6			115	36	25	186	4	11	757	243
12～14	1,322	12			98	28	24	204	3	11	723	219
14～16	1,297	8			112	28	17	201	2	13	735	181
16～18	1,232	6			119	15	13	162	2	16	728	171
18～20	1,255	2		1	142	11	10	173	1	15	783	117
20～22	995	3			77	3	12	115	5	10	721	49
22～24	831	4	1		54	1	5	69	3	7	638	49

## 7 現場到着所要時間別救急出動件数

現場到着 所要時間 年 別	現場到着所要時間					計 (件)	平均 (分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
令和3年	63	50	3,449	5,199	203	8,964	10.9
令和4年	60	54	3,079	7,210	517	10,920	11.6
令和5年	69	63	3,651	8,167	437	12,387	11.6
令和6年	52	82	3,959	7,888	347	12,328	11.4
令和7年	68	70	3,789	7,600	419	11,946	11.5

## 8 収容所要時間別搬送人員

収容 所要時間 年 別	収容所要時間						計 (人)	平均 (分)
	10分 未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上		
令和3年		60	1,619	6,141	458	12	8,290	40.3
令和4年		38	1,302	7,417	1,000	56	9,813	42.4
令和5年		77	1,731	8,543	983	66	11,400	41.8
令和6年	2	65	1,744	8,765	992	45	11,613	41.9
令和7年	2	69	1,887	8,401	802	69	11,230	41.3



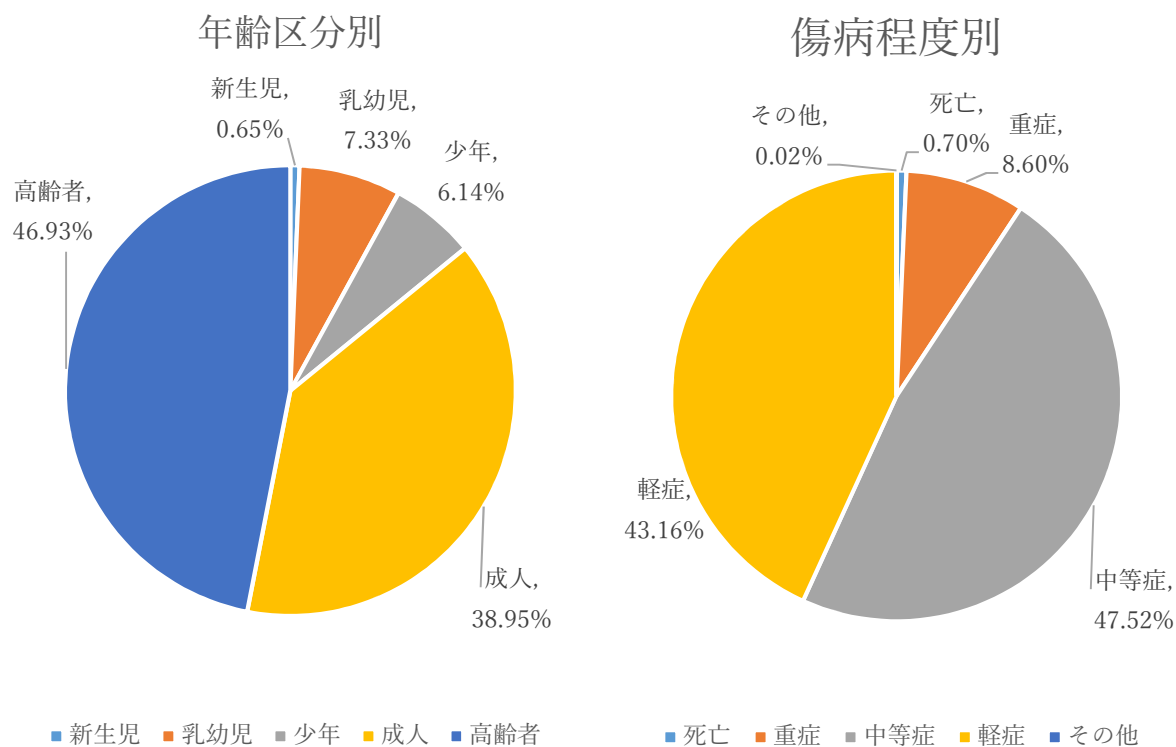
## 9 年齢区分別及び傷病程度別搬送人員

(2025年1月～12月)

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡				18	61	79
重症	3	37	17	297	612	966
中等症	60	239	200	1,804	3,033	5,336
軽症	10	547	473	2,254	1,563	4,847
その他				1	1	2
計	73	823	690	4,374	5,270	11,230

(注) 年齢区分は次による。

- (1) 新生児 生後28日以内
- (2) 乳幼児 生後29日以上満7歳未満
- (3) 少年 満7歳以上満18歳未満
- (4) 成人 満18歳以上満65歳未満
- (5) 高齢者 満65歳以上



## 10 救急隊員の行った応急処置件数

(2025年1月～12月)

応急処置 内 訳		応急処置 対象人員
止血		178人
固定		373人
人工呼吸		37人
心マッサージ	総数	1人
	(うち自動)	(0人)
心肺蘇生	総数	176人
	(うち自動)	(140人)
酸素吸入		1,580人
気道確保	総数	276人
	(※1)	(59人)
保温		5,897人
被覆		575人
在宅治療継続		15人
除細動		17人
静脈路確保(輸液)		188人
薬剤投与		100人
その他の応急処置		10,907人
血圧測定		10,447人
聴診器による心音・呼吸音の聴取		2,869人
血中酸素飽和度の測定		11,061人
心電図		4,492人
血糖測定		167人
エピペン投与		0人
ブドウ糖投与		16人
応急処置計		49,372人

※1

- ・経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ・喉頭鏡、鉗子等を使用しての異物除去
- ・救急救命士が器具等を使用しての気道確保

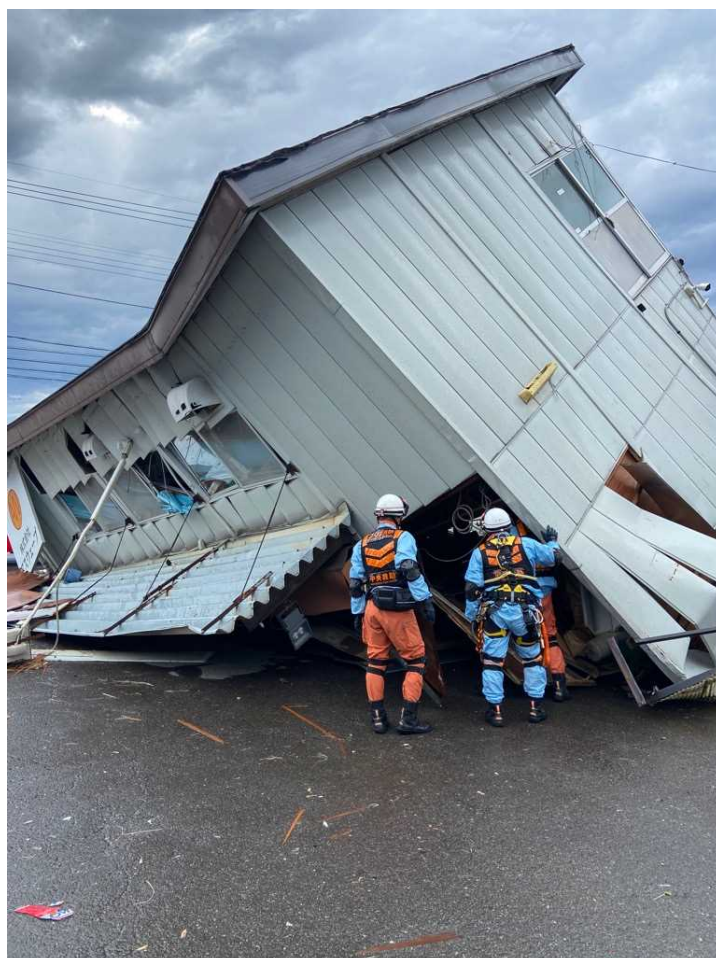
} を行った件数

## 11 応急手当講習会開催状況

(2025年1月～12月)

講習種別	開催回数	受講者数	備考
普通救命講習Ⅰ	148回	2,370人	講習時間3時間
普通救命講習Ⅱ	0回	0人	講習時間4時間
普通救命講習Ⅲ	67回	1,099人	小児を対象とした救命講習
上級救命講習	6回	90人	講習時間8時間
救命入門コース	33回	605人	小学校高学年・中学生対象
その他の講習	60回	1,178人	上記以外の講習
合計	314回	5,342人	

## 第7節 救助編



## 1 事故種別出動及び活動件数

(2025年1月～12月)

事故種別 件数区分	計	火災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
		建物	建物 以外								
出 動 件 数	275	30	19	60	2	1	2	55	3	0	103
活 動 件 数	164	23	2	28	2	0	0	46	2	0	61

## 2 事故種別救助人員及び車両別搬送人員

(2025年1月～12月)

事故種別 救助人員 搬送車両区分	計	火災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
		建物	建物 以外								
救助人員	181	5	0	51	2	0	0	50	4	0	69
搬送車両等の内訳	計	117	4	0	47	0	0	19	2	0	45
	救急自動車	110	4	0	47	0	0	19	2	0	38
	消防機関以外の車両等	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7

※ ヘリコプターで搬送した人員を「消防機関以外の車両等」に加えて計上した。

## 3 事故種別出動人員及び活動人員

(2025年1月～12月)

事故種別 出動人員 活動人員	計	火災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	
		建物	建物 以外									
出 動 人 員	計	3,518	295	139	922	29	20	23	743	74	0	1,273
	専任救助隊員	1,102	172	66	212	10	8	7	213	17	0	397
	兼任救助隊員	207	6	0	12	0	0	0	2	7	0	180
	消防隊員	1,277	35	7	411	13	9	10	364	35	0	393
	救急隊員	932	82	66	287	6	3	6	164	15	0	303
活 動 人 員	計	1,279	56	12	258	23	0	0	329	44	0	557
	専任救助隊員	497	33	9	97	10	0	0	140	17	0	191
	兼任救助隊員	186	3	0	7	1	0	0	0	3	0	172
	消防隊員	238	11	0	60	6	0	0	118	15	0	28
	救急隊員	358	9	3	94	6	0	0	71	9	0	166

## 4 事故種別出動車両台数

(2025年1月～12月)

事故種別 車両区分		計	火災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
計		1,067	97	45	267	9	7	5	193	24	0	420
出 動 車 両 等	救助工作車	290	38	19	59	2	2	2	56	4	0	108
	消防ポンプ自動車	25	1	1	6	1	0	0	7	2	0	7
	はしご車	60	26	2	3	1	0	0	4	1	0	23
	化学消防ポン プ自動車	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	特殊災害対応 自動車	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
	指揮車・指令車	376	6	1	105	3	3	1	71	7	0	179
	救急自動車	308	26	22	94	2	1	2	54	5	0	102
	そ の 他	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1

※ボート隊の出動件数を車両区分中「その他」の欄に加えて計上した。

## 5 事故種別活動車両台数

(2025年1月～12月)

事故種別 車両区分		計	火災		交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他
			建物	建物 以外								
計		321	16	6	61	7	0	0	69	5	0	157
活 動 車 両 等	救助工作車	144	9	4	27	2	0	0	39	3	0	60
	消防ポンプ自動車	12	0	0	3	1	0	0	4	0	0	4
	はしご車	11	5	0	0	1	0	0	2	1	0	2
	化学消防ポン プ自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特殊災害対応 自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指揮車・指令車	38	0	0	1	1	0	0	3	0	0	33
	救急自動車	116	2	2	30	2	0	0	21	1	0	58
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ボート隊の活動件数を車両区分中「その他」の欄に加えて計上した。

## 第 8 節 消防団編



# 1 消防団の沿革

昭和 62 年	11 月	筑波郡大穂町・谷田部町・豊里町及び新治郡桜村の 3 町 1 村の合併に伴い、「つくば市消防団」と名称を変更し、タッチゾーン方式により独立した消防団となり、4 人の団長となる。
昭和 63 年	1 月	筑波郡筑波町との合併により、旧 5 町村 5 人の団長となる。
平成 3 年	4 月	消防団の機構改革を行い、1 市 1 団となり、組織は団本部・5 支団・60 分団・団員数 957 人となる。 初代団長に大塚光（旧大穂町団長）、副団長に小林貞夫（旧豊里町団長）宮本吉三（旧谷田部町団長）、吉田利男（旧桜村団長）、石島正三（旧筑波町団長）が就任する。
平成 14 年	11 月	つくば市に稲敷郡荃崎町が編入合併により、6 支団・81 分団・団員数 1,332 人となる。 つくば市行政組織が再編され「市民環境部消防交通課」から「つくば市消防本部地域消防課」に事務局を移転する。
平成 16 年	4 月	筑波支団の組織改編により 75 分団・団員数 1,331 人となる。
平成 19 年	4 月	荃崎支団の組織改編により 62 分団・団員数 1,196 人となる。
平成 20 年	4 月	桜支団の組織改編により 40 分団・団員数 1,197 人となる。
平成 21 年	10 月	消防団の更なる組織の充実と強化のため、女性 40 人が入団し、女性支団を結成する。 女性支団の結成により団本部・7 支団・46 分団・団員数 1,259 人となる。
平成 22 年	3 月	初代消防団長大塚光退任する。
	4 月	倉持政博（副団長）消防団長に就任する。
平成 26 年	4 月	消防団員の条例定数を、1,200 人に改める。
平成 27 年	4 月	澤辺稔（副団長）消防団長に就任する。 桜支団の組織改編により 51 分団・団員数 1,132 人となる。
平成 28 年	4 月	桜支団、女性支団の組織改編により 48 分団・団員数 1,095 人となる。
平成 29 年	4 月	消防団員資格に、通学者を加える。
平成 31 年	4 月	土信田政司（副団長）消防団長に就任する。 つくば市消防団の組織改編により、女性支団が本部付分団となる。 団本部・6 支団・47 分団・団員数 1,041 人となる。
令和 5 年	4 月	錢谷幸男（副団長）消防団長に就任する。
令和 6 年	4 月	消防団員の条例定数を、950 人に改める。

# 2 消防団員数

(2026 年 4 月 1 日現在)

計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
769	1	21	65	47	46	134	455

※ 支団長・副支団長は副団長の階級に、指導員は分団長の階級にそれぞれ属す。

### 3 年齢・階級別消防団員数

(2026年4月1日現在)

年齢 \ 階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	769	1	21	65	47	46	134	455
18～20歳	1							1
21～25歳	12				1		6	5
26～30歳	21			2		1	3	15
31～35歳	62			4	2	1	14	41
36～40歳	78			6	6	7	16	43
41～45歳	178			16	13	18	34	97
46～50歳	198		3	18	14	10	36	117
51～55歳	138		2	14	7	6	16	93
56～60歳	50		5	4	2	1	5	33
61歳以上	31	1	11	1	2	2	4	10

※ 支団長・副支団長は副団長の階級に、指導員は分団長の階級にそれぞれ属す。

### 4 消防団配備等の現況

(2026年4月1日現在)

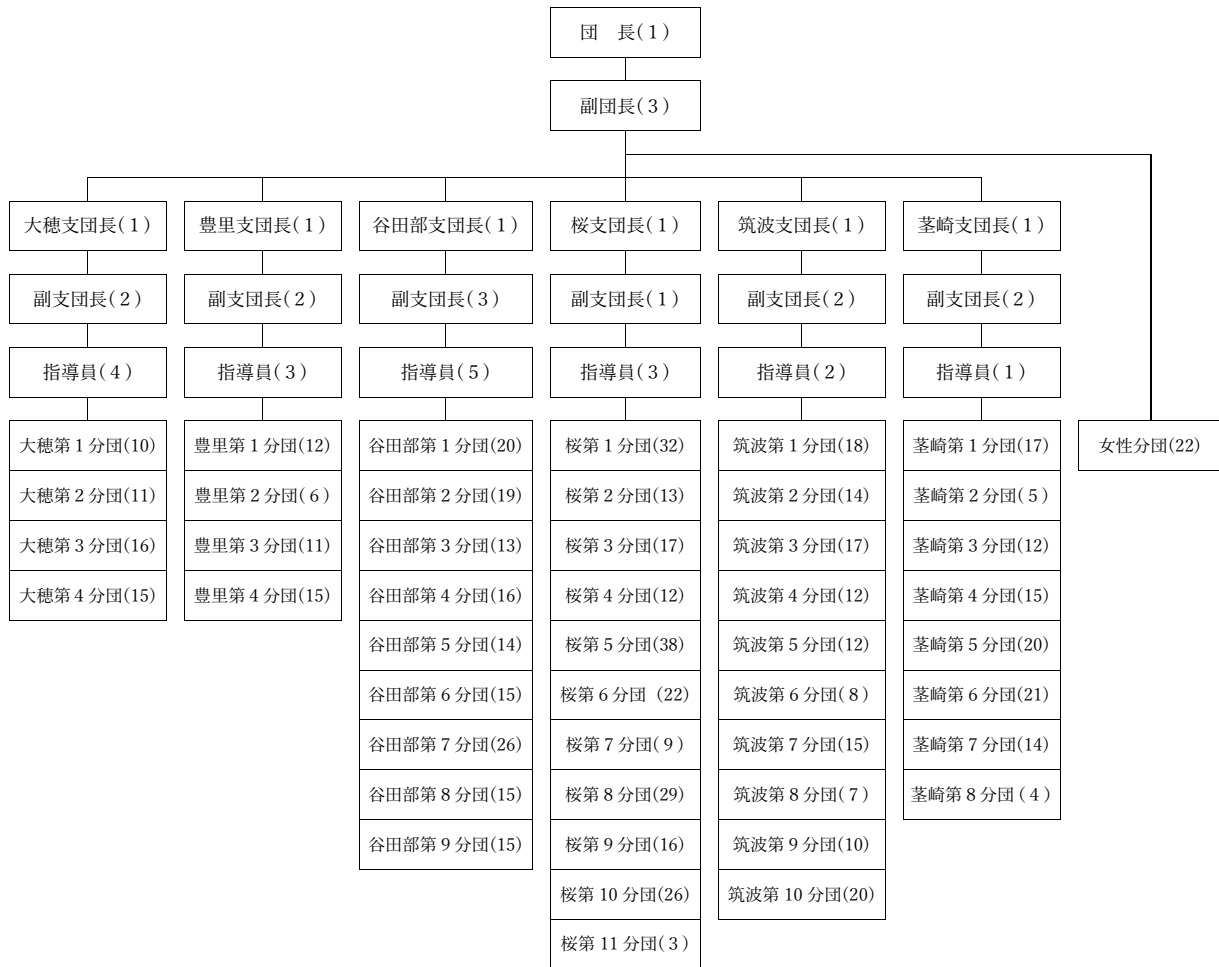
区分	分団数	実員数	水槽付 消防ポンプ 自動車	消防ポンプ 自動車	可搬ポンプ 積載車	指令車	連絡車
本部役員		40					
大穂支団	4	52	1	3			
豊里支団	4	44		4			
谷田部支団	9	153		9	1		
桜支団	11	217	1	10			
筑波支団	10	133	1	10			
荃崎支団	8	108		8			
女性分団	1	22					
非常備消防管理						1	1
合計	47	769	3	44	1	1	1

注1：消防団多機能型車両

注2：内1台、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車(消防庁貸付車)

## 5 消防団組織体制

(2026年4月1日現在)



※ ( ) 内は人数

### 消防団実員数 (条例定数 950 人)

役 職	実動数 (うち女性)
団 長	1
副 団 長	3
支 団 長	6
副 支 団 長	12
指 導 員	18
分 団 長	47 (1)
副 分 団 長	47 (1)
部 長	46 (1)
班 長	134 (6)
団 員	455 (14)
合 計	769 (23)

## 6 火災出動件数及び出動人員

(2025年1月～12月)

	出 動 件 数	出 動 人 員
大 穂 支 団	23 件	250 人
豊 里 支 団	20 件	301 人
谷 田 部 支 団	35 件	1,063 人
桜 支 団	15 件	244 人
筑 波 支 団	19 件	212 人
荃 崎 支 団	8 件	155 人
計	120 件	2,225 人

## 7 女性分団活動状況

(2025年1月～12月)

	活 動 回 数	活 動 人 員
応 急 手 当 講 習	44 件	102 人
幼 児 防 火 教 室	10 件	41 人
研 修 会 ・ 啓 発 イ ベ ン ト 等	15 件	87 人
会 議 ・ 訓 練 等	8 件	38 人
計	77 件	268 人



アスファルトにも負けない

ホシザキユキノシタのように…

消 防 本 部	〒305-0817 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1	TEL 029-851-0119 (代) FAX 029-851-0138 E-mail fst010@city.tsukuba.lg.jp
消 防 総 務 課	同 上	TEL 029-851-3970 FAX 029-852-1710
予 防 課	同 上	TEL 029-851-2633 FAX 029-852-1475
消 防 救 助 課	同 上	TEL 029-851-2042 FAX 029-851-0091
救 急 課	同 上	TEL 029-851-0011 FAX 029-851-0091
消 防 指 令 課	同 上	TEL 029-851-0119 FAX 029-851-0138
地 域 消 防 課	同 上	TEL 029-883-1182 FAX 029-868-7583
中 央 消 防 署	〒305-0817 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1	TEL 029-851-1691 FAX 029-851-3973
中央消防署豊里分署	〒300-2645 茨城県つくば市上郷606番地	TEL 029-847-8639 FAX 029-847-8643
中央消防署桜分署	〒305-0018 茨城県つくば市金田2040番地2	TEL 029-857-4150 FAX 029-857-4724
中央消防署並木分署	〒305-0044 茨城県つくば市並木一丁目2番地3	TEL 029-861-0123 FAX 029-861-0136
北 消 防 署	〒300-4246 茨城県つくば市上沢3番地	TEL 029-867-2355 FAX 029-867-2327
北消防署筑波分署	〒300-4353 茨城県つくば市沼田644番地	TEL 029-866-0176 FAX 029-866-0653
南 消 防 署	〒305-0856 茨城県つくば市観音台一丁目25番地3	TEL 029-838-0279 FAX 029-838-0262
南消防署荃崎分署	〒300-1255 茨城県つくば市小荃563番地1	TEL 029-876-1089 FAX 029-876-1784